

コロナ禍と物価高騰で 生活弱者を支える多角的寄り添い支援

♡ つながる力で！ 安心して暮らせる社会を目指して！！ ♡

2022年度新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援助成



多角的な支援！



信州子ども食堂長野市コロナと物価高騰で大賑わい



支援物資をカートにいっぱい

24H
無料相談
365日面談
の相談

相談件数
4,860件

面談同行
生活必需品
支援
(フードバンク)

生活支援
9,870人

支援物資
87万点
189トン



信州子ども食堂バロー南松本店♡物価高騰で大盛況！

県内 170カ所
55,358人

地域の
「居場所」
信州
子ども食堂

<本部事務所>
松本市寿北5丁目4番28-1
電話 0263-75-8368
<各地域拠点事務所>
長野市三本柳西2-74(にっこりFD.B)
電話 080-3418-0088
台風19号被災地 長野市上駒沢356-102
電話 090-6473-9455
塩尻市片丘7900 信州子ども食堂 in しおじり
電話 090-9118-5899
上田市七瀬2885-3 まるこ福祉会
電話 090-5329-1653



♡ 無料相談・問い合わせ  0120-914-994

特定非営利活動法人 NPOホットライン信州

E-mail: yff52160@nifty.com http://hotline-shinshu.jimdo.com/
団体の設立 2011年3月30日 法人の設立 2014年4月1日
== ★発行責任者 村上晃 ★編集責任者 青木正照 ==

2023年6月～2024年2月



目 次

- 1 コロナ禍と物価高騰で！**支えあいの輪** P 1
～ 24H 相談ケア・**生活困難者支援**・**宅配支援**～
コロナ禍と物価高騰で生活弱者を支える多角的支援
- 2 **地域で支え**・**認め合い**、**つながりを広げ**、**だれもが幸せな社会** . . P 2
- 3 コロナ禍と物価高騰に苦しむ「ひとり親家庭の実態!!」 . . P 4
- 4 **諏訪中央病院看護専門学校3年生の学習会** . . P 5
- 5 **NHK テレビ 長野県信州を知るしん** . . P 6
- 6 **コロナ禍と物価高騰での活動!**← **相談～繋がる力** . . P 8
- 7 **2024.1.1能登半島地震、水・物資が不足！過酷な状況緊急支援** . P 51
- 8 **フードドライブ・フードバンク・フードパントリー** . P 58
- 9 **こども食堂の作り方と保険加入** P 60
- 9 **メディア関係など** P 66
- 10 **信州こども食堂ネットワーク・関連団体** P 78
- 11 **信州こども食堂の広がり !!** . . 裏表紙



コロナ禍と物価高騰で！ 支えあいの輪 ～24H相談・ケア 生活困難者支援・宅配支援～

コロナ禍と物価高騰で生活困難者緊急対応！

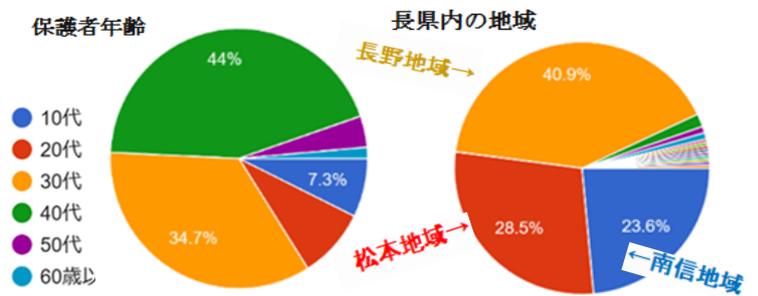
長期化するコロナ禍に加え物価高騰のあおりを受け、子育て中の生活困窮者家庭は深刻な状況である。私達の24時間365日の無料相談や支援物資の配布の支援で、社会的に弱い立場に置かれた人が、厳しい生活を余儀なくされ更に追い込まれている。



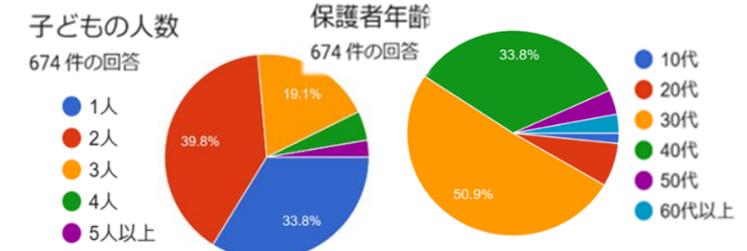
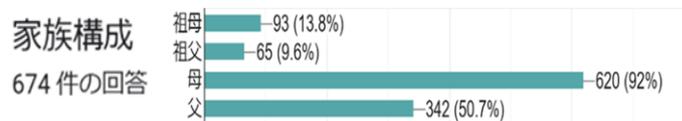
様々な相談に対応している、子ども食堂の相談

生活困難者家庭と要支援者の聞き取り

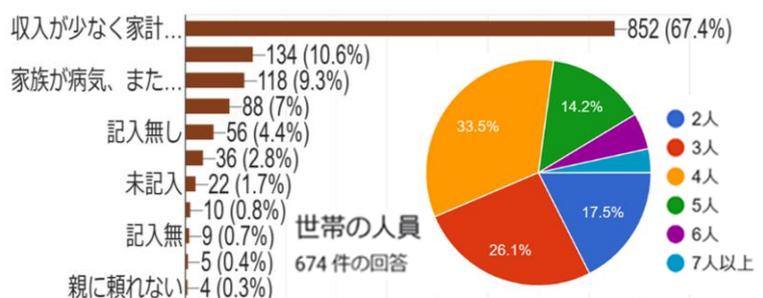
生活支援 9,870 人から 1,500 人の聞き取り調査



ひとり親家庭(別居・失業・離婚調停中) 680 人



支援を希望する理由→収入が少なく家計が苦しい



声声・「長引くコロナの影響で仕事量が減り所得も激減。更なる物価高騰が家計を圧迫し限界・・・」、「食費や光熱・燃料費の高騰で子どもの教育費が出ない！本当に苦しくて生きていけない」などの訴えが…連日続いている。

一人で悩んでいませんか？ まずはお電話ください。



お電話で無料相談 あなたは一人ではありません。あなたのそばに私たちがいます。忘れてない！

土日曜日 10時-22時 フリーダイヤル **0120-914-994**

平日 10時-22時 **0263-75-8368**

相談の悩み事を確認しながら、支援方法を一緒に考えます。必要に応じて、最寄りの相談機関を紹介したり、専門家と一緒に解決方法を見出したり、自立に向けたお手伝いをします。



個人と親子両面に対応した支援の重要性

長期のコロナの影響による離職や離婚、生き辛さを抱えた親子の相談が増え、子どもにも心理的貧困という負の連鎖がみられ、自傷者の相談も増加傾向の中、その場しのぎの画一的支援策が、生活困窮者を更に苦境に追いやっている。画一的なサービスではなく、個々の生活実態を把握し、個人と親子両面に応じた柔軟な支援方法にが必須である。

居場所・こども食堂へのニーズの高まり

急激な物価高騰による生活困窮家庭の負担を少しでも緩和するための家庭への食糧支援が緊急に求められている。その受け皿ある、地域の「こども食堂」が生活困窮者家庭を支え、生き抜くための重要な役割を果たしている。

地域で支え・認め合い、つながりを広げ、誰もが幸せな社会

信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂が核となり、まちのプラットフォームとして、食育・対面・学習・就労・生活支援などの実施をしてきた。

信州子ども食堂 NW**170** カ所 **55,358** 人

2023年6月～2024年2月までの集計

月数	子ども	大人	合計
6月	3,012	2,012	5,024
7月	3,837	2,535	6,372
8月	3,807	2,481	6,288
9月	2,763	1,650	4,413
10月	7,391	4,294	11,685
11月	3,653	2,246	5,899
12月	4,243	2,629	6,872
1月	3,110	2,064	5,174
2月	2,250	1,381	3,631
合計	34,066	21,292	55,358

それぞれの「子ども食堂」で相談内容を聞く
⇒対応策を検討し支援に入る



親子の相談を受け、安心して笑顔がもどる

子どもの居場所が向き合っている子どもたちの現状に寄り添い、
子ども食堂をまちのプラットフォームにするために、
NPOホットライン信州が取り組んでいる 3 つ



日時	食堂名	子ども	大人	合計
12月2日	松川村 松川子どもカフェ	37	31	68
12月2日	上田市 子どもレストランきらっと	37	44	81
12月3日	生坂村子ども食堂	74	32	106
12月3日	信州子ども食堂古里カフェ	31	31	62
12月6日	ネバラポおやつ部	31	22	53
12月8日	NPO法人はなぶさ学園	34	45	79
12月8日	ハッピーハウス	58	40	98
12月9日	はらから・ぶち	37	13	50
12月10日	安曇野市 cocoroカフェ	55	53	108
12月10日	信州子ども食堂inバロー南松本	115	87	202
12月10日	信州子ども食堂with温泉寺	56	64	120
12月14日	信州子ども食堂in松本 どん八	73	45	118
12月16日	松本市「ヒッポポ食堂」	30	27	87
12月16日	松川村 松川子どもカフェ	50	43	93
12月16日	長野市 信州子ども食堂	156	82	145
12月16日	信州子ども食堂inこもろ	39	41	80
12月16日	信州子ども食堂inすわ ちゃんちゃんこ	21	27	48
12月16日	白馬村 子どもカフェ3	8	11	19
12月16日	朝日村針尾集落センター子ども食堂	285	143	428
12月16日	長野市 寺子屋カフェ	51	33	84
12月17日	子ども園深志子ども食堂フードパントリー	152	60	212
12月17日	信州子ども食堂inバロー南松本	112	86	198
12月17日	箕輪町 purみんなの学校 子ども食堂	23	13	36
12月18日	箕輪町 purみんなの学校 子ども食堂	34	20	54
12月18日	ゆいまーる子ども食堂 島立公民館	45	13	58
12月15日	中野市 なかの子ども食堂	37	32	69
12月20日	子どもカフェ ねやねや亭	74	99	173
12月23日	信州子ども食堂inまつもと学び塾	96	46	142
12月24日	小谷村 誰でも食堂	19	17	36
12月24日	信州子ども食堂古里カフェ	98	38	136
12月25日	松本市 寄り添い子ども食堂	59	63	122
12月26日	信州子ども食堂inまつもと学び塾	32	24	54
12月28日	長野市 信州子ども食堂in柳町	67	58	105
12月30日	信州子ども食堂inまつもと島内	73	52	125
12月中	富士見 カフェ&スペース ひこうせん	192	167	359
12月中	茅野市 コミュ・きっちん天香	366	128	494
12月中	岐阜県 地域で助けあう子ども食堂	379	145	524
12月中	箕輪町 purみんなの学校 子ども食堂	57	33	90
12月中	松本市 信州みんなの食堂	113	67	180
12月中	きずな子ども食堂宅配便(松本)	98	89	187
12月中	松本市 笑和はうす 月3回	53	39	102
12月中	須坂市 プラザ食堂	223	48	272
12月中	きずな子ども食堂宅配便(松本)	118	98	216
12月中	NPO法人Hug	251	230	488
12月中	(一社)感環自然村	136	7	136
12月中	まんまBaby&kids	58	43	101
	合計	4,243	2,629	6,872

こども食堂を通じた食糧支援

2024年度2月までの支援物資は、年間87万点の189ト車が集荷～配布された。



NPO ホットライン信州の松本地区拠点で各こども食堂が受取



11ト車からの荷下ろし

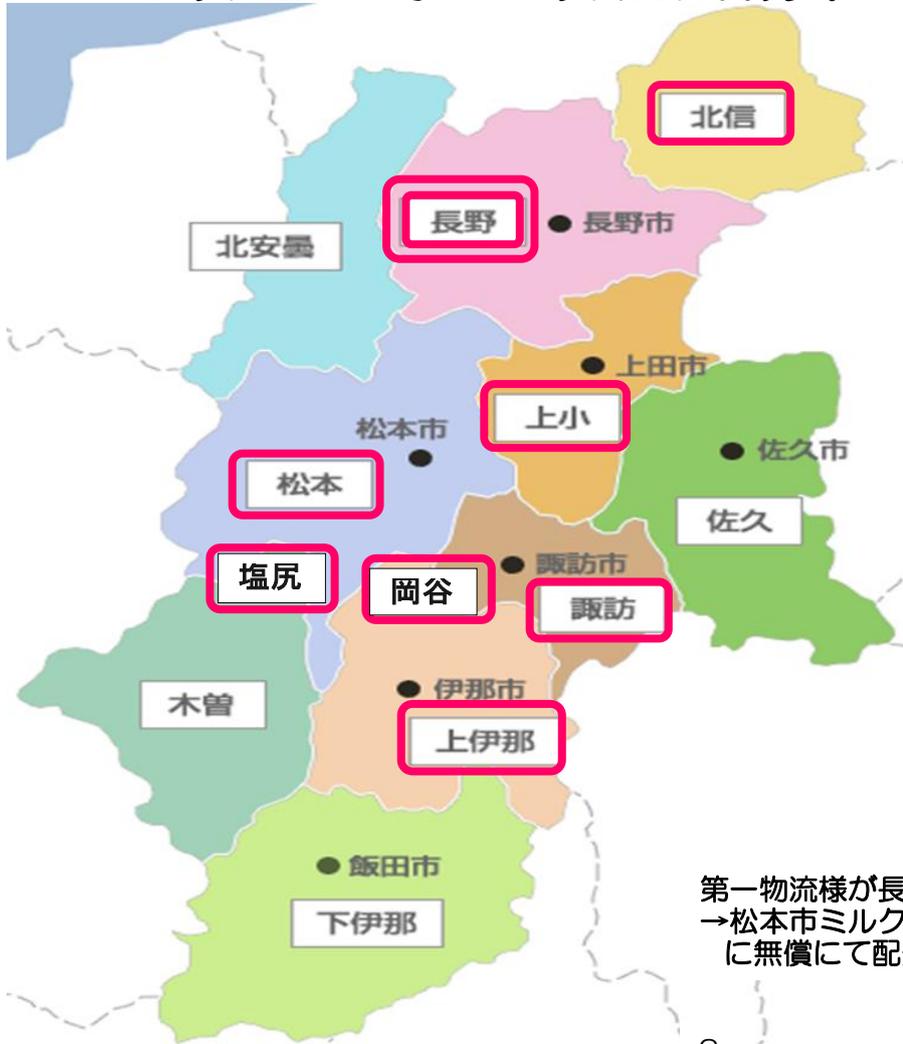


冷凍食品受取 (アイスクリーム)



		NPOホットライン信州支援物資取扱量								2024年4月～2025年3月					
2023年 2024年	NPOホット ライン信州	松本市 本部扱い		JAグリーン長野 ・企業担当塚田		さんぽん やなぎ		Gプロ ジェクト		古里カフェ		寄り添い こども食堂			
	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	
6月	135,414	34,490	61,672	21,170	66,876	11,143	120	200	2,275	1,348	2,538	334	1,933	295	
7月	118,280	18,733	57,175	8,608	59,355	8,850	109	680	253	340	846	147	542	108	
8月	113,580	20,809	56,535	8,339	52,000	8,015	337	3,300	1,773	980	2,215	145	720	30	
9月	68,901	16,478	41,645	11,128	24,630	3,160	238	1,200	315	222	774	18	1,299	750	
10月	106,244	29,806	71,311	17,391	32,002	5,708	163	4,800	464	775	504	92	1,800	1,040	
11月	90,488	21,463	48,042	11,380	38,575	5,530	298	1,200	175	1,730	1,228	218	2,170	1,405	
12月	66,010	18,967	49,629	10,905	13,621	3,145	115	2,030	347	1,360	293	7	2,005	1,520	
2024.1月	89,310	15,405	74,002	9,775	12,920	1,925	15	2,500	170	80	88	10	2,115	1,115	
2月	77,920	13,034	66,192	10,998	7,402	1,018	83	600	70	125	1,535	92	2,638	201	
合計	866,147	189,185	526,203	109,694	307,381	48,494	1,478	16,510	5,842	6,960	10,021	1,063	15,222	6,464	

こども食堂を通じた食糧支援県内 9カ所のロジ拠点



こども食堂の持続可能な活動を支えるために



冷凍アイス 11ト車受取→配布



第一物流様が長野牛乳→松本市ミルクランドに無償にて配送支援



コロナ禍と物価高騰に苦しむ「ひとり親家庭の実態!!」

コロナ禍と物価高騰に苦しむ
生活弱者を支える多角的支援

相談・面談・ケア件数 4,860 件
要支援者へ物資提供 1,282 件
子ども食堂共食・物資 55,358 名



24時間
365日の
無料相談



シェルタールーム

DV など、身体的暴力
や言葉による精神的・心理
的暴力やお金を渡さないな
どの経済的暴力を受け、一
時的な居場所・避難場所と
してのシェルターの活用も
受けている。



2023度 相談・面談同行・生活支援・子ども食堂支援物資延べ人数									
	相談・面談同行・生活支援				子ども食堂・居場所他				
	相談員40名	フリー☎	☎	☎	相談ケア	女性1人親等	相談合計	支援物資	参加者数
2023年									
6月	264	37	22	41	63	427	1,025	5,024	
7月	338	42	35	54	112	581	1,152	6,372	
8月	326	40	31	48	104	549	1,135	6,288	
9月	274	32	29	39	66	440	854	4,413	
10月	435	46	42	87	128	738	1,340	11,685	
11月	305	38	24	52	92	511	1,087	5,899	
12月	375	78	36	72	119	680	1,293	6,872	
2024年									
1月	292	74	32	32	97	527	1,198	5,174	
2月	219	62	18	30	78	407	786	3,631	
合計	2,828	449	269	455	684	4,860	9,870	55,358	



相談内容は、年末年始 12/23～
1/3 日まで、内閣府の孤独・孤立相談
と合わせて、24 時間の相談窓口を開
設。近年の物価高騰に、母子家庭の悩
みは多岐にわたり一層深刻化しており、
次から次へと相談は尽きない。

声の向こう
底見えぬ孤立



諏訪中央病院看護専門学校3年生の学習会

体験 コロナ禍と物価高騰で！ 支えあいの輪 24H相談ケア生活困難者支援・フードバンク～

6月8日(木)、諏訪中央病院看護専門学校生が、こども食堂での「おやきを焼きトマト料理」の体験をし、その後、生活困難者支援の現状についての講演と生活困難者への支援物資作り(お米とパンの耳の袋詰め)を行い、同日の信州こども食堂まつもとで、配布しました!!



2023年6月9日(金) 信濃毎日新聞

諏訪中央病院看護専門学校(茅野市)の生徒6人が8日、塩尻市片丘でNPO法人ホットライン信州(松本市)が運営する「信州こども食堂しおじり片丘」を訪れ、子ども食堂の現状を学んだ。子ども食堂の役割などについて説明を受け、食品を小分けする作業も体験した。新型コロナ禍や物価高の中、生活に困窮する人を支える地域の取り組みを学ぼうと訪問。同法人専務理事の青木正照さん(73)は、子ども食堂は困窮者支

子ども食堂の役割とは

塩尻 看護専門学校生が現状学ぶ

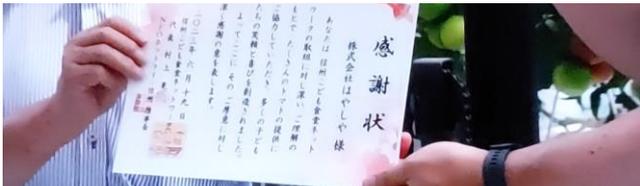


子ども食堂に寄付された米を、小さな袋に分ける生徒ら

援のために始まったが、居場所をつくる役割も果たしていると説明。食事を共にする場を設けることで「自殺や犯罪、虐待が起らない社会づくりにもつながりたい」と強調した。生徒らは、袋に穴が開いたためスパーから寄付されたコメを、配布するため小袋に移し替える作業もした。3年の岩井紗葉さん(20)は「茅野市豊平」は「住民を支える地域の活動を知り、将来、患者さんとの関わりに生かされたい」と話していた。

進化する「信州子ども食堂」

6月30日(金) 19:30-20:42NHK テレビ 長野県信州を知るしん「もぐしん」にて、6分ほど放映されました。長野県内には約200カ所の子ども食堂があり、コロナ禍での子ども食堂が紹介され、NPO ホットライン信州のフードドライブを通じての新鮮な食材の配布…子ども食堂に来られない、家庭には「デリバリー型子ども食堂」や親子や家族で「共食体験できる信州子ども食堂」。また、「パロー南松本店」での子ども食堂は、多くの子どもたちが参加して紙芝居やゲーム・工作や勉強など楽しんでいます。その間に、お母さんたちは、安心して、安く良い食材求めて買い物ができると評判が良いです。



長野県内には、200カ所の子ども食堂があり、それぞれの子ども食堂や各家庭などに、フードドライブで、家庭や企業から集まった様々な食材を NPO ホットライン信州が届けている。(株)はやしやさんから毎回

新鮮な
トマトを
いただく
(写真)



子ども食堂に来られない、家庭には「デリバリー子ども食堂」として、各家庭に悩みや困りごとなど「面談・相談」を兼ねて届けています。運送会社を利用しないため、低コストと新鮮な生鮮食品を直接届けることができます。



- 宅配のメリット
- ①運営コストが低く抑えられる
 - ②生鮮食品をより新鮮なタイミングで届けられる

スーパーマーケット「パロー南松本店でのこども食堂」として、多くの子どもたちが参加して紙芝居やゲーム・工作や勉強など楽しんでいます。その間に、お母さんたちは、安心して、安くて良い食材求めて買い物をしています。



親子や家族で「共食体験できる信州こども食堂」として、多くの子どもたちが参加して紙芝居やゲーム・工作や勉強など楽しんでいます。その間に、お母さんたちは、安心して、安くて良い食材求めて買い物をしています。



NHK 長野では、2023年7月1日(土)も再放送され、「新たな形のこども食堂としてスーパーマーケット併設型と親子で料理教室に参加できる」こども食堂が紹介され、それを支えるフードバンクの取り組みが紹介された忙しい土・日でした。勉強など楽しん



7:50 長野県 29℃ (もくしん定額便) NHKプラスで配信中

フードドライブ 問い合わせ

NPOホットライン信州

0263-75-8368

フードドライブ 寄付受付

長野市 7月15日(土) 午前11時
長野市役所西側「桜スクエア」

松本市 7月13日(木) 午後4時
22日(土) 午前10時
駅前記念公園東側向かい「峯村ビル」

フリマやピザで お年寄りと交流

箕輪町 Pur みんなの学校子ども食堂

5月の「Pur みんなの学校子ども食堂」の参加者は、子ども 40名と大人 45名でした。

5月3日は、お年寄りとのコラボ企画で世代間交流。NPO ホットライン信州からいただいた美酢や支援物資などを喜んで受け取ってくださいました。



5月28日は、キッズフリマ&子ども食堂キッズフリマ。出店は 12名でした。

子どもを主役に、コミュニケーションの力やお金の大切さを身につけて、もったいないをありがとうに変える活動を計画しました。お年寄りの会は、みんなで雑巾を縫ったり、ミサンガを作ったりして50円で販売。子どもたちは「すごい!」と感動して買っていました。

場所もイオンの中にあるガラス張りになった場所なので自然とお客さんがたくさん集まりました。



子どもたちは、「他の学校の子と仲良くなれた」、「たくさん売れて楽しかった」、「売ったお金で欲しいものが買えた」、「お小遣いになった」、「緊張したけど楽しかった」、「お母さんがいない方が楽しくフリマできた」と、大好評でした!

また別の場所では、子ども食堂チームが五平餅、パスタサラダ、お漬物トマト、ゼリーのお弁当を50食作りました。

6月3日は、ふれあいの里とのコラボ。ピザ窯でおやきとピザを焼きました。参加者は子ども 10名と大人 30。お年寄りの会にも声をかけ、たくさんの方が来てくださり、「子どもから元気がもらえてうれしい」と、元気になれたようです。



いつもと違った場所でしたが、いつもは歩いて子どもだけで来る子も、初めてお母さんと来てくれて、「いつもいろいろいただいたり、食べたり遊んだりさせてもらってありがたい」と言っていました。

本格的なピザ窯は手作りということで、温かみのある子ども食堂になりました



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



定番のカレーと遊びがいっぱい

木島平村 木島平こどもカフェ

7月8日(土)、第13回木島平こどもカフェを開催しました。降水確率90%の雨予報でしたが、子ども90人を含む129名の参加で、子どもたちのパワーが届いた



のかスッキリと晴れ、外遊びも内遊びも思う存分楽しめた様子でした。

NPO ホットライン信州 や 長野県社協よりお菓子をいただき、受付で配布しま



お昼は、定番のカレーライス、天の川サラダ(スパゲティサラダ)、星空ゼリー(フルーツ寒天)。カレーには、浦山きのごサプライさんのハタケシメジや、石川農園さんのズッキーニ、村内の方からいただいた玉ねぎなどがたっぷり!! 村内の野菜や果物で美味しさも栄養もバッチリで、おいしすぎて3杯おかわりした子もいました。



今回も下高井農林高校の生徒が参加してくれ「バードコール」という鳥の鳴き声みたいな音が出せるおもちゃを作りました!

村内ボランティアさんによる「どんぐりゴマ作り」も大好評でした。



体育館では、ボール遊び・バドミントン・卓球・ロープ遊びなど。外では、グラウンドわくわくクラブ、遊びの出前(大縄跳び・竹馬・こま・プレイボード)、チョークで落書帰りなど。

時間が近くなると、自主的に片付けをしだす姿が見られて感動しました! 「まだ帰りたくない」なんて嬉しい声も。

次回もお楽しみに。



<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



手伝いも積極的 みんなの居場所

松本市 信州みんなの食堂

「信州みんなの食堂」、7月は、平日と日曜日を含めて6回開催し、子ども187

人を含む287人が参加しました。



願い事を教えてくれた子の短冊には「子どもが15人ほしい」と書いてあり、この場所が気に入っている理由が分かった気がしました。彼女が大人になる頃には、子育てしやすい社会環境であってほしいと思います。



七夕直前の7月5日(水)は、子どもたちが短冊に願いを書いて竹に結びました。

9日(日)は昼開催の日。人参を丸ごと1本使った「人参ドレッシング」を子どもが自分で手作り。大人が見守りながら、やりきりました。昼食のサラダにかけて味見してからお土産に。この日は、小学6年と中学2年生の子が配膳など積極的に手伝ってくれて助かりました。



最近では、帰りに持ち帰るお菓子の詰め合わせの手伝いをしてくれる子たちの姿も。「いっしょにやるー!」と、スタッフを助けたり、初めて会ったお母さんの赤ちゃんをお世話し始めたり。この場にいるみんなのために、と動いてくれる子どもたち。これからは、安心して他人と関わられる「こども食堂」でありたいです。



12日(水)は夕方開催。子どもの参加者が多かったけど、自分の好きなテーブルに補助イスを運んで工夫できました。

ハンバーグをおかわりする子どもがたくさんいて、厨房も盛り上がりました♪

<編集> 信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



19日(水)は、手打ちうどん店「勝利」さんからいただいた生麺を使って、かき揚げうどん。子どもには素麺を提供しました。それぞれ冷たい麺を食べて、夏を満喫しました♪



小中学校が夏休みに入った26日(水)は、夕方開催の時間を1時間繰り上げてオープン。涼しい室内でいっしょに過ごせる時間を長くしました。時間になると、早速、夏休み帳を持った小学生たちがやってきました。



4時からミニパフェ作り🌟2人セットで用意された食材を仲良く分け合いながら、各々好きに飾り付け。マンゴージュレとヨーグルト、シリアルやクッキーにアイスまで…♪

子どものためにいただいた支援物資のおかげで、無料でおいしく楽しいイベントができました。



28日(金)は9時からオープン。早速、夏休み帳を持った子どもたちがやってきます。宿題が終わると、パフェ作りの手伝い。生クリームをたてたり、コーンフレークを分けたり。今回のミニパフェ作りでは、さくらんぼシロップ🍓を使いました。



7月も、NPO ホットライン信州からのアイスやマンゴーなどの食材を活用して、子どもたちの笑顔があふれていました。

今月はほかにも、スイカやトウモロコシ、インゲンやキュウリなど夏野菜がたくさん届きました。どれも、子どもの好きなものばかり。支えてくださる方々には感謝の気持ちでいっぱいです。いつも、温かいお気持ちをありがとうございます。

「信州みんなの食堂」は参加者を限定していませんので、ワンオペや核家族、幼い子を育てる親子の居場所としても活用されています。

朝日村で初開催 カレー大作戦

朝日村 朝日村子ども食堂

NPO ホットライン信州は7月15日(土)、朝日村で初めて開催された「朝日村子ども食堂」に参加しました。今回の「朝日村カレー大作戦」には、子ども約70名含む120名が参加し大成功でした。



NPO ホットライン信州は、「突然の災害に、私はどうする…」をテーマに、災害時に役立つ食材と食事を体感するコーナーと、「なんでも相談」に対応しながら、物価高騰で苦労している方たちに、綿あめ、お米・アイス・チョコなどの物資を渡しました😊。

運営した朝日村社協様からの報告では、「子ども食堂ゼロの朝日村において、村民からは続々と『とても楽しかった、子ども向けイベントがうれしい!』『たくさんお土産をいただいて、家族で楽しめました😊。子育てひと段落したら私も子ども食堂の活動に携わりたい』など、うれしい声も寄せられた」とお礼の言葉をいただきました。

市民タイムス 7月16日(日)

カレーライスを味わい笑顔を見せる子供たち

朝日 カレーで子育てを応援

10カ所まで
子ども食堂巡回スタート

朝日村の子供や住民が集って食事をし、みんなで子育てを応援する地域づくりを目指す「子ども食堂」が15日、古見集落センターで初めて開かれた。「朝日村カレー大作戦」と題して来年3月まで村内10カ所を巡回し、村内の団体や飲食店が手作りカレーライスを振る舞う。初回から多くの親子連れが集まってカレーを味わい、和やかに交流した。

「朝日村カレー大作戦」で初めて開かれた。古見集落センター(15日)で開かれた。朝日村カレー大作戦は、来年3月まで村内10カ所を巡回し、村内の団体や飲食店が手作りカレーライスを振る舞う。初回から多くの親子連れが集まってカレーを味わい、和やかに交流した。

「朝日村カレー大作戦」で初めて開かれた。古見集落センター(15日)で開かれた。朝日村カレー大作戦は、来年3月まで村内10カ所を巡回し、村内の団体や飲食店が手作りカレーライスを振る舞う。初回から多くの親子連れが集まってカレーを味わい、和やかに交流した。

8月9日(水)は、三ヶ組公会所で子ども56名を含む87名が参加。豚汁とパンを食べていただきました。



来年3月まで村内10カ所を巡回し、本事業の目的である「困っていることを気軽に相談できる顔の見える関係を構築し、地域全体で子育てを応援する機運を高めていくこと」を応援します😊。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



学生の参加で 活気ある食堂

中野市 なかの子ども食堂 第 49 回-50 回

7月29日(土)の「なかの子ども食堂」の参加者は、子ども17人、大人12人、スタッフ13人(うち学生6人)、テイクアウト4人分の合計46人でした。



メニューは、梅しらすごはん、豚肉生姜焼き、ポテトサラダとミニトマト、そうめん汁、ゼリー、麦茶、ポカリスウェット。梅しらすごはんは、「梅苦手」「酸っぱいの苦手」と白ご飯を要望する人もたくさんいて、今後の課題でした。



毎年恒例の「サマーチャレンジボランティア」。今年は2名の高校生が参加しました。前日の打ち合わせから参加してもらい、一日の流れを踏まえてやりたい活動の心づもりをして当日を迎えました。ほかに「新聞を見て参加しようと思った」という高校生と、以前から来ている大学生と高校生、小学生も参加し活気がありました。



七夕飾りをつくったり、けん玉をしたり楽しく過ごしました。

開催 50 回目を迎えた、8月26日(土)は、夏のお楽しみとして、みんなでビンゴ。学生スタッフが盛り上げ、景品は手芸の得意なスタッフが作ってきました。参加者は、子ども20人、大人16人、スタッフ11人の47人。「ビンゴが楽しみ」という小学生、家族できた方、近所の高齢の方、初めて来た方、みんなで楽しみました。



メニューは、夏野菜カレー、福神漬け、温玉添えのシーザーサラダ、すいか、麦茶、NPO ホットライン信州提供のチョコでした。すいかは、スタッフの菜園でとれたもので、大小10個以上届きました。



2個を切り分け存分にいただきましたが、ほかは参加者のお土産になりました。

みなさんありがとうございました。



<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



流しそめんや 手品など楽しく

長野市 寺子屋こどもカフェ

長野市の東和田公民会で開く「寺子屋こどもカフェ」。
6月10日(土)の参加者は子ども36名を含む53人でした。大学生のお姉さんがボランティアで来てくれ、勉強を教えてください、子どもたちとたくさん遊んだりしてくれました。



お昼ごはんの一番人気は、ちくわチーズフライ!すぐに終わってしまいました。りんごマカロニサラダも、たっぷりタケノコ炒め煮も、おかわりたくさんパリパリ揚げ菓子や寒天白玉イチゴあんみつも人気でした



7月15日(土)、雨のち曇りのお天気で、梅雨の終わりに無事開催できました。高校生のお姉さんが遊びに来てくれ、パパさんママさんと子どもたちもにぎやかでした!
NPOホットライン信州からのアイスに大喜び。子ども46名含む83名の参加でした。



7月31日(月)、夏休み中の第1回目は、古牧地区防火・防犯・交通安全ポスターの上手な描き方を、美術家の丸山幹雄先生に教えてもらいました!参加は子ども42名含む44名でした。



夏野菜とフルーツもたくさん。サラダにお肉やグラタン、おふかつ、具たくさん味噌汁とトウモロコシご飯に、おいしいおやきまで!
デザートにフルーツポンチとアイスも!みんな大満足でお腹いっぱい!

<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



8月7日（月）の参加者は子ども36名を含む計40名。
夏休み第2回目も、前回に続きポスター描きです！美術家の丸山先生に、ポスター用のアクリル絵の具をいただいて本格的に教えてもらいました。そして大広間では、本格的な流しそうめんです。



玄関からホースをつないで、大広間の青竹を通り抜けて、東側の裏口へ流れる仕組みです。コトコト落ちる水の音、サラサラ流れる白い素麺、お椀に盛れた子どもたちの笑み、楽しくておいしい♪
食べ終わった6年生が、今度はスタッフのみんなにそうめんを流してくれました。

8月14日（月）、夏休み中の3回目。この日は、地区の盆踊りの



予定でしたが、台風の影響を考慮して、残念ながら中止に。



そこで急きょ、寺子屋カフェをお祭り気分で遊べるようにしてもらいました。

射的や輪投げでお菓子ゲット！オリジナルうちわ作りも大人気でした。

8月26日（土）、夏休みも終わり8月最後の寺子屋こどもカフェの参加者は、子ども51名を含む84名でした。

すいせんマジックサークルの袈裟則先生が登場。おなじみの白い鳥が飛び出して！ペットボトルの中にはカワイイ金魚？外から扇子で仰ぐと、あら不思議？！泳ぎだした？簡単な手品を教えてもらい、「できた～！」と大喜び。袈裟則先生ありがとうございました♪



広場で楽しんだ 水遊びとかき氷

長野市 信州子ども食堂

7月15日(土)、長野市の「信州子ども食堂」は、いつもの会場を飛び出して長野市役所桜スクエアの芝生広場で、思いっきりプールなど水遊びを楽しんでもらいました😊。



子ども達 108 名の歓声があがる中、子ども火消隊が、水鉄砲で登場!!。大人たち 50 名は、汗ダラダラでお手伝いと見守りました。

朝は雨模様でしたが開催時間には快晴になり、用意したかき氷には長蛇の列ができていました😊。りの人気に終わり間際、かき氷機が故障してしまい、泣き泣き帰る子も出てしい💧ごめんね〜🙏。

次回までに修理に出してみようと思いますが、直らなかった時にはどうしよう😓💧まだまだ暑い日が続くので8月の開催でも使いたかったのになあ〜😓。

今月から同時開催でフードドライブも実施しています。ご協力くださった皆さまありがとうございます。8月の第3土曜日は、ふれあい福祉センターで開催です😊。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



真夏を楽しんだ どん八と学び塾

松本市 信州子ども食堂 in 松本どん八・学び塾

8月10日(木)、「信州子ども食堂 in 松本どん八」は、子ども58名を含む105名が参加。メニューは、王将弁当100食に、どん八のいなり寿司。炊き出し隊みらいによる夏の災害時で喜ばれる「マンゴなどのかき氷」に、ロッテさんからのアイスでした。



帰りは、アプロ様のお菓子や玄向寺様のドーナツ、ティンカーベルのパン。又、野菜と長野畜振様から瓶牛乳などをたくさんいただき、「夏休みの食費がとても助かる」と感謝の声でした。



8月26日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in 松本学び塾」は、子ども88名を含む122名が参加。メニューは、餃子の王将様お子様弁当、キューピーみらいたまご財団様の果肉たっぷりマンゴーのかき氷、長野畜振様の瓶牛乳でした! さらにローソン様のアイスに、突然の豪雨の中でのスイカ割りは大盛り上がり! お腹いっぱい大満足でした!!



エクセラン高校性によるビーズアクセサリー作りでは可愛い作品を「見て、見て」と、防災体験の水鉄砲も子どもたちに大人気! デリシア様の寄贈お米2kgに、サンエイ様のお菓子や玄向寺様のドーナツ、ヤンニョムチキン、野菜、マスク、石鹸などたくさんいただき感謝の声でした!!

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



心地よい居場所 みんなの食堂

松本市 信州みんなの食堂

8月の「信州みんなの食堂」は、5回開催し、子ども98人を含む158人が参加しました。夏休み期間中は、自宅で待たせてしまう時間がかわいそうなので開場時間を1時間早めてオープンしました。



8月2日(水)は、3時から開催。松本市筑摩から高校生が一人でお手伝いに来てくれました。

冷房が効いた部屋で夏休み帳やお絵かきなどで過ごした後は、外へ出てスイカ割り。小さい子から順番に棒を持って挑みます。周囲の応援が素晴らしく、全員が当てられたので、用意していた3個のスイカは見事に割れて完食できました♪



9日は、ゲーム大会。高校生と大学生、児童館で働くママもスタッフに加わり、カードやまんからなどゲーム大会を開催しました!

トーナメント制で勝ち残った人から好きな景品を選ぶことに。「優勝者からお菓子選んでね」と呼びかけたものの、勝ち負けにかかわらず、その場にいた子どもたちで平和にお菓子を分け合いました。「これ妹が好きだから」と、おもちちゃを選んだお兄ちゃんもいました。



16日は、おやつに綿あめを作って食べました。口の中ですぐに溶けてなくなる綿あめ…。食事の配膳時間まで絶えない行列。ザラメをそのまま食べる子どもが何人もいてびっくり。それでも誰も、スイカとカレーは残しませんでした(笑)



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



23日は、いただいた23個の小玉スイカとメロン、みかん、リンゴジュースを使って、夢のフルーツポンチを作りました。豆腐入り白玉も加えて豪華なおやつでしたが、夕食の焼き肉は別腹♪楽しく、お腹いっぱい食べられる幸せを感じました。



NPO 法人ホットライン信州を中心に、こども食堂にご寄付くださる皆さまにはいつも感謝の気持ちでいっぱいです。

30日は、松本大学の学生で防災士のスタッフ（松本大学総合経営学部環境ホスピタリティ学科2年）が「防災クイズ」を発表。子どもたちは真剣に取り組みました。



防災食や避難場所、防災ヘルメットの管理方法などについて話し合い、関心を寄せていました。

配布した防災食は、コッペパンと豚汁。いつでも食べられるお菓子（カカオ）を一人ずつ配りました。



新しく松本市島内から高校2年生がスタッフに加わりました！小学生に勉強を教えたいと張り切っていた彼女は、「宿題多くてイヤだ！」と嘆く3年生に対して熱心に対応していました。頼もしい仲間です♪



波田の自宅スタジオでカメラマンをしている子育て中のママが撮影で使用したバルーンを寄付し、取り付けしてくれました。



ここでは、子どもの居場所としての機能に加えて、おうちの人にも居場所を提供しています。支える人も支えられる人も、双方が心地の良い場所でありたいと思います。

学習と工作で 楽しく過ごさ

松本市 笑和はうす

9月9日(土)の「笑和はうす」は、子ども 18 人を含む 39 名が参加。パフェ作りを予定していましたが、コロナや感染症が蔓延していたため、会食や調理は止め、密を避けて活動しました。



はじめは、学習タイム。宿題やプリントに一生懸命取り組む子どもたち。小さいお友だちは、塗り絵や粘土あそびを楽しみました。がんばったあとは、おやつ時間。NPO ホットラインさんからいただいたアイスクリームは、甘くて冷たくて美味しかったです。



次は、万華鏡作り。スタッフと一緒に切ったり貼ったり。中をのぞきこむとキラキラ光る万華鏡に、みんなうっとりでした。まわりにシールも貼って、世界で一つの万華鏡ができました。



お昼は、持ち帰りのお弁当にしました。メニューは、炊き込みご飯、春雨サラダ、高野豆腐の肉詰め、卵焼き、ウィンナー、きゅうり、ミニトマト。デザートにスイカ、りんご、シャトレーゼさんのプリンもつきました。

帰りには、お菓子や野菜のお土産もたくさんで、大人も子どもも笑顔いっぱいでした。



9月16日(土)は、子ども 16 人と大人 12 人の参加でした。学習時間では、持ってきた宿題や用意したプリント学習。小さいお友だちは、塗り絵を。15 分間、みんな集中して取り組んでいました。



次は、前回から楽しみにしていた空気鉄砲作り。半分に切ったペットボトルに風船を被せて、持ち手をつけて完成。シールやマスキングテープでデコレーション。的にあてて楽しみました。



最後は、ダンボール、空き箱、ラップの芯など廃材を使った自由工作。お昼はバローさんの手作りのり弁当。おかずも盛りだくさん。ご提供ありがとうございました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



奉仕のこころ 感謝のつながる力

松本市 松本ライオンズクラブ

8月6日(日)、松本中央ライオンズクラブとNPOホットライン信州は「コロナ禍と物価高騰、さらに夏休みの食事でお困りの子どもと家族を支えよう」と「子ども縁日」と「信州こども食堂」を開催しました。松本中央ライオンズクラブ 55周年記念の「フードドライブ」で集まった支援物資1万点・1.5トのご寄贈を受け、お弁当とおそば・綿あめ・災害食品・お米、持ち込まれた食材や衣類などを配布しました。



信州こども食堂まつもと・寄り添いこども食堂・ヒッポポ食堂・笑和はうす・Pur みんなの学校の5つの食堂がブースを出し、参加者は子ども120名を含む約200名でした。



防災の非常食を勉強する子どもたちと、悩みごとなどの相談に対応する相談員(上)



創立 55 周年～社会貢献の意欲新たに!!

9月16日(土)、松本ライオンズクラブ創立55周年記念大会式典が開催されました。招待を受けて参加したNPOホットライン信州の青木専務は、4団体へ記念品の目録を授与されたので、55年の半世紀を超える中で、多くの諸先輩の「奉仕のこころ」をつないできたご労苦に心より感謝をし、感謝状を青島会長に渡しました。



<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



毎月にぎわい 過去最高を更新

松本市 信州子ども食堂 in バロー南松本店

松本市のバローで開く「信州子ども食堂 in バロー南松本店」。8月20日（日）の参加者は202名（うち子ども128名）と、過去最高のにぎわい。

メニューは、たこ焼きに、バローパン、お菓子、お豆腐、綿あめ。たこ焼きを初めて焼くと言う子ども達も、ドキドキしながら「すごく美味しく焼けた！家でもやる！」とあられる笑顔がいっぱいの大喜び喜んで帰って行きました。



「こども広場」では、バルーンアート、エクセラン高校生による缶の積み上げ大会、ボンボン釣り体験、おばあちゃんの指人形遊びを楽しんだ子どもたち。



9月10日（日）の参加者は240名（うち子ども142名）と、過去最高だった8月をさらに上回るにぎわい。

メニューは、ジャガイモピザ、バローパン、びん牛乳、お菓子、お豆腐、綿あめ。



「こども広場」でバルーンアート、ゴム鉄砲、おばあちゃんの指人形遊び、紙芝居を楽しむ子どもたちに安心して、お母さんらは買い物をしました。

10月8日（日）の参加者は232名（うち子ども122名）。メニューは、和風パスタ、バローパン、びん牛乳、お菓子、お豆腐、綿あめ。



帰りは、お米やアイス、お菓子などの無料配布。「物価高騰の中、毎回とても助かります」など、感謝の言葉をたくさんいただきました。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

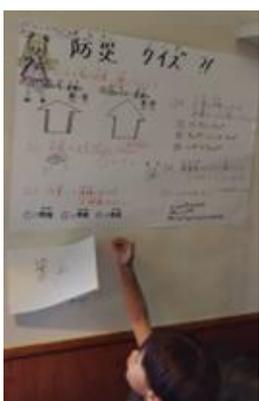
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



手伝いも楽しい 大家族のおうち

松本市 信州みんなの食堂

9月の「信州みんなの食堂」は、4回開催し、子ども88人を含む134人が参加。9月は「防災期間」ということで、防災士の資格取得をめざして勉強中の中埜さんが作ってくれた「防災クイズ」を掲示。各自で答え合わせしながら、防災を身近に感じてもらいました。



6日(水)は、学校帰りの子どもたちが高校生や大学生とスイカを食べながら宿題に取り組んでいました。地元の方からいただいたトウモロコシで「じゃがいもとひき肉のコロッケ、トウモロコシ入り」。

提供くださる方々のおかげで、子どもたちは「好きなものをたくさん食べられる喜び」を感じ、おいしい・うれしいが広がっています。



13日は、おやつに地粉を使ったクレープを作って好きなトッピングにして食べました。一人2枚までにしていましたが、後引く旨さに我慢できず、耳元でこっそり「皮だけちょうだい」とささやく少女たち。



20日は、高校生ボランティアと一緒に配布用お菓子の袋詰め。「人の役に立つ」経験は、年齢に関係なく自尊心を育みます。「お手伝いしたーい!」と厨房に来る子には、何かしら頼みます。「助かったよ、ありがとう」と伝えると、にんまり笑顔が返ってきます。



26日は、お月見団子づくり。子どもたちがコロコロ丸めて、スタッフがゆでて、もっちり仕上げ上がった団子に、みたらしタレを絡めました。



毎週届く新鮮なきゅうりは、「浅漬け」が大ヒット。必ずお代わりする子どもたちがいて、ついには、皿を下げ終わった後にも。残った浅漬けを見つけると、「全部食べていい?」と、うれしそうに持っていきました(笑)。

子育てで悩むお母さんの 笑顔があふれる居場所

生坂村 信州子ども食堂

10月1日(日)、生坂村の海洋センターで開いた子育て世帯を対象にした第「居場所み〜つけた!」。
子ども約74名含む106名が参加しました。
はじまるのを心待ちにしていた子どもたちは「遊びに来たよ〜」と元気な声をかけてくれました。



会場に設けた防災コーナーでは、非常食や携帯用トイレを体感。段ボールに水を入れるだけでご飯が炊けるアルファ米は興味津々です。のぞき込んだ先にあったのは、ホカホカの炊き込みご飯。思わず「お〜」と声上がり、感心していました。おいしい炊き込みご飯は、持ち帰ってもらいました。子ども達は、防災クイズのコーナーで楽しく学び、自分たちのとる行動を改めて確認していました。



温かなおやきや具だくさんの汁物、防災ご飯、ドーナツ、お菓子、生活用品などを提供。ミニゴルフ大会は、大にぎわいでした。綿あめコーナー、段ボールで作ったトラック、バンブーダンスなど、遊びの広場の充実に満足したようです。また、毎回設ける「学びのコーナー」も定着しつつあり、宿題を持ってきて楽しく学んでいる姿がありました。

相談コーナーでは、子育てで悩むお母さんが相談したことで、笑顔に変わっていました。



外では、おいしい餃子を食べて満足感にあふれていました。NPO ホットライン信州等からのたくさんの支援物資は、とてもありがたく「助かります」と、皆さんに喜んでいただきました。

皆さん笑いとお土産をたくさん抱えて、「楽しかったです」といって帰っていきました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



子どもたちが 大活躍の居場所

中野市 なかの子ども食堂

9月は「秋分の日」の23日（土）に開催。市内で大きなイベントも宣伝されている日で「参加者が少ないかもしれない」と、いつもの杞憂。でも、参加者は51人と計画通りでした。子どもが1人で、または2人でやってくる、食事直前に来て食べ終わるとさっと帰っていく家族もいました。もちろん、いつもの顔ぶれも。様々な思いで立ち寄ってくれるのだとしたら、「気軽に利用できる居場所」になってきているのだろうとうれしく思います。



「祭日だから来ることができた」という知り合いのスリランカ人。公民館の日本語教室の講師の方もここ何回か続けて来ています。今回は韓国料理で、スタッフが本場のコチュジャンとごま油を提供してくれたこともあって、「国際色豊かな子ども食堂になった」と思います。

10月28日のメニューは、竹輪のかば焼き+エリンギ+かぼちゃの煮物の一皿、浅漬け、豚汁、シナノゴールド、麦茶で、ご飯は木島平米の新米ご飯でした。

竹輪のかば焼きは、竹輪を開いて切り込みを入れて楊枝を刺す作業が手間取ります。これを6年生のボランティアが上手にやってくれました。ほかに、ごぼうのささがきやお皿拭きも。「ハロウィンビンゴ」を進めているのも高校生と小学生です。



はじめの頃からの常連の女の子は「やることありますか」ということが恥ずかしいそうです。大人のスタッフも、この子がそんなに恥ずかしがりやとは知らなくて、次回はこちらから声をかけて仕事を頼んで「やりたいけど、言い出せない」というところを後押ししてみたいです。

季節をいただく 秋満載のお弁当

茅野市 コミュ・きっちん天香

毎週木曜日に開く「コミュ・きっちん天香」、10月の参加者は、子ども366人と大人128人の合計494人でした。



10月5日のメニューは、さつまいもとシメジのご飯、トマトオムレツ、ズッキーニの漬物、グレープフルーツ。学習サポートはいつものようにマンツーマンでした。



10月12日は、餃子に駆けつけた五目あんかけは NPO ホットライン信州さんからいただいたフリーズドライをお湯で戻してから掛けました。

しっかりした味の五目あんかけなので餃子の味に負けることなく美味しくいただきました。紫キャベツとにんじんのピクルス、かぼちゃと夕顔の煮物、20世紀なし、ブロッコリー。かんでんぐらで、たまごプリンさんの管楽器アンサンブルが楽しめました。



10月18日は、栗ご飯、肉じゃが、りんご、プチゼリー。

前日から当日までみんなで懸命に栗の皮をむき、ようやく準備が整いました。たっぷりのお芋で肉じゃが。おりよくりんごの寄付もいただき、秋満載のお弁当になりました。



10月26日は、ケンタッキーチキンカレー、パスタサラダ、大学いも風サツマイモ。おいしいケンタッキーチキンのカレーに、もりもりのご飯とパスタサラダ。炭水化物だらけのお弁当でした。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



みんなで楽しむ ハロウィン♡

松本市 ハロウィンときめき♡こども食堂

10月14日(土)、主催：松本深志ライオンズクラブ、共催：NPO ホットライン信州（信州こども食堂まつもと）が、松本市花時計公民館で開いた「ときめき♡こども食堂」。子ども580名含む約870名(主催側発表1500人)が参加しました。



エクセラン高校生による「お菓子釣り大会」や「折り紙づくり」。キッチンカーによるおいしい餃子とチキンに長蛇の列ができました。ほかにも、キーマンカレーやホットコーヒー、ハロウィンクッキーなど。



会場では、ハロウィンときめきコンサート♪子ども達によるハロウィンステージにみんなが感動しました。



「信州こども食堂」による支援物資や生理用品などの配布と個別相談コーナーなど、みんなでにぎやかにハロウィンを楽しみました。



「炊き出し隊」による非常食料理教室。



多くの皆さんの協力により成功裡に終わりました。皆さんお疲れさまでした。



食欲の秋を満喫 みんなの食堂

松本市 信州みんなの食堂

10月の「信州みんなの食堂」は4回の開催で、参加者は子ども126人を含む197人でした。



4日(水)は、午後4時開催。宿題をやらない子は、カードゲームやお絵かきなど室内遊び。提供していただいた子どもたちが大好きなクッキーはおやつに食べて、食後も食べて、おみやげに持ち帰り。たくさん食べられる幸せを届けてくださり、ありがとうございました。



夕食に出したナシも大好き子がたくさんいて「おかわり!」の声がやみませんでした。お皿を持ってくる子たちで厨房は大忙し。から揚げとごはん、ヤンニョムのおかわりも「食欲の秋」大満喫でした。

11日は午後3時から。児童館の先生が来てくれて、子どもたちといっしょにカードゲーム。「今日を楽しみに来た」という3歳の幼児は、絵合わせゲームで大学生と大盛り上がり。ワイワイ楽しみました。



スタッフから自家栽培の落花生をもらったので、めずらしい茹で落花生とブドウで季節を感じることができました。



18日は手の空いている子といっしょにクッキーケーキ作り。誕生日を迎えた高校生スタッフにサプライズプレゼント。

いつも遊んでもらっている小学生たちもいっしょに楽しい時間を過ごしました。



25日は少し早いハロウィンのプレゼントに、入口でお菓子を1つずつ。

地区の民生委員さんも子どもたちの輪に入ってワイワイ。スタッフが提供してくれたハロウィングッズで子どもたちは大喜び。みんなで楽しめました。

いっしょに盛り上げてくれるスタッフやお母さんたちに感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



温かい味噌汁と ハロウィン好評

松本市 寄り添いこども食堂

10月23日(月)の「寄り添いこども食堂」は、こども57人を含む105人が参加しました。

体調不良等でスタッフ、参加者ともにキャンセルもありましたが、無事に開催できました。すっかり日が暮れるのが早くなり、スタート時点で暗くなっていましたが、家族みんな来てくれて賑やかに行われました。



メニューは、焼き肉弁当。
牛肉と玉ねぎの焼き肉に、千切りキャベツとカリフラワー、さらわの西京焼き、パスタサラダ、かぼちゃの煮物、お味噌汁でした。
みんな美味しかったのですが、特に具たくさん味噌汁は好評でした。寒くなると温かいものが欲しくなりますね。



「ハッピーハロウィン」企画のオリジナルクリアケース作りでは、おばけやカボチャのハロウィンのイラストや自分で好きな絵をクリアケースに描いていました。

お菓子のつかみ取りや、お菓子を持ったスタッフに「トリック・オア・トリート!」と言って、お菓子をもらいハロウィンを楽しみました。



おみやげは、農家さんからいただいたお米を約 1.5 キロずつ袋詰めし、一人一人に渡しました。他にもNPO ホットライン信州を通していただいた、さつまいもやお菓子、アイス、ジュース、レトルト食品などたくさんの物資を渡すことができました。

今回もたくさんの皆様の参加、ご協力ありがとうございました。

<編集> 信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



季節を感じる おいしい献立

諏訪市 信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」

10月21日(土)の第86回信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」は、17家庭で子ども27人、大人22人スタッフ17名の合計66名の参加でした。

久しぶりの60名超え。元気なお子さんが多くてとてもにぎやかでした。初参加の方も多くてうれしかったです。

お絵かきをしたり、工作をしたり遊んでいて、大勢集まったところでお菓子を狙った輪投げゲームをしました。



メニューは、秋らしくキノコの炊き込みご飯でした。それに山賊焼き、白菜のお味噌汁、さつまいもとりんごの甘煮ができました。「秋だからキノコのご飯なんだよね」と、子どもの気づきがありました。良く気がついてたね。これからもできるだけ季節感のあるものを提供していきたいと考えています。



11月18日(土)第87回は朝方、山はうっすらと雪化粧でした。午後には平地も雪が舞いはじめこの冬いちばんの寒い1日でした。18家庭の参加で、子ども23人、大人20人、スタッフ13名の合計56名。お絵かきやパズル、工作をして食事ができるのを待っていました。

メニューはこの時期にふさわしくトン汁。いろいろな野菜がたっぷり入っていて、とても美味しい。子どもから大人までおかわりの行列ができていて、あっという間になくなってしまいました。3杯食べたという子もいました。

付け合わせはシシャモのフライとテンホウのギョウザ。

白菜と果物のサラダ。子どもには浜さん手作りのカボチャのプリンと新村さん手作りのイチゴの寒天ゼリーが付ききました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



バイキングで お腹いっぱい

長野市 信州子ども食堂

10月21日(土)の「信州子ども食堂」は、前月会場が使えず休みだったので2ヶ月ぶりの開催。子ども133名含む228名の参加でした。



この所、野菜も値上がりが激しく購入をためらうほど。そんな時でも野菜を寄贈くださる農家さんと、寄贈品を毎日せっせと運んでくれている当法人のスタッフのおかげで、たくさんの野菜と物資をお渡しすることができ、参加者の皆さんも笑顔に。



会場では、餃子やパン、麻婆豆腐、焼きそばなどをバイキングで提供。皆さんからは「美味しかった〜」、「お腹いっぱい」、「会場で食べるの楽しい」との感想。また、調理のボランティアさんは、直接料理の感想や感謝の言葉をもらえてうれしかったそうです。

今回、初の試みとして長野県労働金庫の皆さんが、子育て家庭の「マネーセミナー」と「一億円ってどれだけ〜?」とレプリカを持って来てくださいました。今日の参加者の中に将来、本物の一億円を手にする人が出るかも知れませんね。



11月18日(土)は、寒さも急に厳しくなり、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症流行の影響もあってか、いつもより少し参加者が少なく、子ども94名含む145名でした。



子ども食堂を必要とする方がいる限り休む事なく続けて行きたいと思う反面、スタッフの負担は、増すばかり。前日の準備も含めてボランティアさんを大大募集しています!!



今月は、野菜がたくさん集まりました。お母さん方は「助かる〜」と両手いっぱいお持ち帰り。子どもたちは、サンエイさんのお菓子釣りや飴すくいを楽しみ、バイキングで納豆巻きや餃子、ヤンニョムチキン、フルーツポンチ、煮物、小松菜ナムルなどの美味しいご飯をお腹いっぱい食べて、笑顔で帰って行きました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ フリーダイヤル 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



コンサートで感動的なひととき

長野市 古里こどもカフェ

10月15日(日)の「古里こどもカフェ」は、あいにくの天気のため、計画していたりんご狩りと焼き芋を中止し、急ぎよ上駒澤集会所を借りて開催しました。参加者は子ども19名を含む41人で、少しずつ新規の参加が増えています。



予定通り、りんご園しみずふあーむの清水さんお手製のピザを振る舞っていただきました。特に、りんごと蜂蜜のピザが絶品でした。

当カフェからは、焼き芋の代わりにスイートポテト、カボチャや山菜の煮物、きゅうりの漬物を用意し、とても心のこもった素敵なランチになりました。



11月12日(日)は、長野市のボランティアセンター・ホールで『ハッピースマイルコンサート』を開きました。昨年に引き続き、ピアニストの中川真由美さんをお招きし、とても感動的なひとときとなりました。参加者は、子ども22名を含む51人でした。

ショパン、モーツァルト、ベートーヴェンの名曲や小さな秋の変奏曲、銀河鉄道999など馴染みのある選曲。後半は弾き語りや、先生直筆で用意してくださった歌詞カードを見ながら全員で歌をうたって楽しみました。



ピアノの美しい音色が、子どもだけでなくお父さん・お母さんやおじいちゃん・おばあちゃんの心を癒し、みんなで声を出して歌を歌うことで、とても元気が出た!との感想をもらいました。



来場記念として、市内に住む80代の女性からご寄付いただいた手編みのアクリルたわしを。また、予約いただいた参加者の方には、『あじまる』さんの手作り弁当と食材などを提供しました。



<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます



こども園深志で 初のこども食堂

松本市 こども園深志こども食堂

国のひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業の中間支援団体となり、認定NPO法人フローレンスの「保育園こども食堂助成事業」を活用し、認定こども園深志でこども食堂を10月と11月に開催しました。

第1回目は10月29日(日)。こども68人を含む120人が参加しました。初めての開催でスタッフも不安と期待の中でしたが、開始と同時に参加者が集まり、用意した120食のお弁当はきれいに終わりました!



参加者はこども食堂に初めて参加する方が多く、「こんないただけるのですか!」「いろいろいただけて助かります」「ほかにこども食堂はありますか?」など、こども食堂を多くの方に知っていただくことができて良かったです。



参加者はこども食堂に初めて参加する方が多く、「こんないただけるのですか!」「いろいろいただけて助かります」「ほかにこども食堂はありますか?」など、こども食堂を多くの方に知っていただくことができて良かったです。



第2回目は11月19日(日)。1回目より50人ほど多い参加人数で、子ども88人を含む168人が参加しました。前回参加した方が友だちを誘ってくれたり、おいしいちゃんがお孫さんを連れて参加してくれている様子も見受けられました。



参加者はこども食堂に初めて参加する方が多く、「こんないただけるのですか!」「いろいろいただけて助かります」「ほかにこども食堂はありますか?」など、こども食堂を多くの方に知っていただくことができて良かったです。

開始時間前から順番待ちの列ができ、用意した120個のお弁当は30分足らずで配布終了になってしまいました。これにはスタッフもびっくりでした。



物資をもらったあと、こども達はクイズを解きながら防災対策体験したり、保育園の遊具でお友だちといっしょに楽しそうに遊んだりしていました。

こども食堂が保護者にもこども達にも、来て楽しい居場所だと思ってもらえるとうれしいです。



＜編集＞信州こども食堂ネットワーク事務局

信州こども食堂ネットワーク中南信地域

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



体験も楽しみな 毎週開催の食堂

松本市 信州みんなの食堂

「信州みんなの食堂」の11月は、水曜日の夕方6回と日曜日の昼の6回開催し、子ども175人を含む274人が参加しました。



1日(水)は甘柿をおやつに出したところ、「どうやって食べるの?」と、柿とにらめっこしたままの子たち。「どれにしようかな♪」と選ぶ楽しみとともに、自由に食べてもらいました。

細巻きは、巻き方を教わりながら子どもたちが作りました。夕食にはすべて食べきるほど大盛況でした。



8日は寄付で届いたバウムクーヘンをおやつに、宿題に取り組む子どもたち。宿題をしない子には、おかわり用のバウムクーヘンを切り分けてもらいました。

15日は英会話講師の方が食器類を届けてくれました。居合わせた1年生3人は知っている英単語で懸命に話しかけ楽しい時間を過ごしました。メニューは、生トマトたっぷりハヤシライス。3回おかわりした小学生も。さらに、バナナを食べたい子が自分でカット。スタッフやお姉さんたちに見守られ、小学1年生も上手に切れました♪



19日(日曜日)は10時開催。赤い羽根共同募金により普段の活動ではできない体験活動ができました。牛、豚、鶏肉を焼いた後の熾火で焼き芋を作りました。「カルビ初めて食べました!

おいしかったです!」と、スタッフ参加の高校生が嬉しそうな笑顔を見せてくれました。サツマイモはしっとり焼き上がり、心もお腹も大満足でした。



22日は天体望遠鏡で月と星の観察をしました。

長野県地域振興局の職員さんや「こどもの居場所づくり」プラットフォーム関係者など14人が見学に訪れました。地域に住む多くの方々に関心をもっていただけてうれしいです。



29日はクッキーを食べながら宿題やる子や遊ぶ子。食事の前には、絵本を2冊読み聞かせ。配膳には園児が加わり、せっせとお手伝い♪小さい体が頼もしく見えました。「長野ろうきんNPO自動給付システム」助成金で床を修繕しました。足元つまずく危険性がなくなり、安心して過ごせます。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

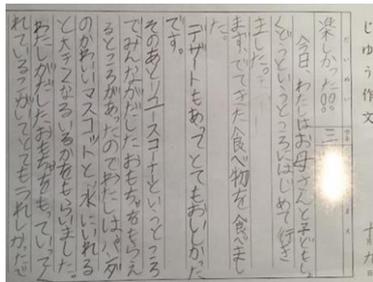
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



楽しみいっぱい 学校でも話題に

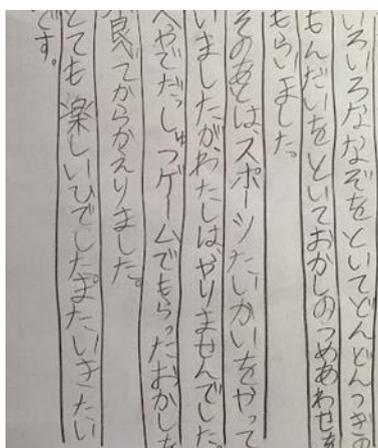
箕輪町 Pur みんなの学校

11月の「Pur みんなの学校」は、6日(月)にパントリーを実施しました。NPO ホットライン信州からいただいたさつまいもで大学芋をつくって配布しました。寒くなってきたのでトッポギとラーメンを入れた鍋もつくり、温かくおいしくいただきました。



リユースルームは、子ども食堂開催時と毎週月曜日 10 時～17 時にオープンしています。お宝さがしみたいで楽しいと、子どもたちからも大人気です。

11月23日(祝)は、子ども食堂。子ども40名、大人30名の総勢70名が参加。綿あめ、お米のひもくじ、トッポギ入りのラーメン、アルファ米のおにぎりも大好評でした。



うれしい写真が届きました。宿題の日記に子ども食堂のことを書いてくれ、学校でも子ども食堂が話題になっているそうです。

キッズフリマを同時開催し、とてもたくさんのご家族が訪れました。射的をしたり、使わなくなったものを売ったりしてSDGsを学びました。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



作って食べるを 楽しんだ Xmas

富士見町 こどもの居場所「ひこうせん」

12月20日(水)の「ひこうせん食堂」は、Xmasメニュー。ポテトサラダをケーキに見立てて、人参やハムを、うさぎやハート、☆に型抜きして飾りつけ。子どもたちは「作って 食べる」を楽しみました。



22日の「こどもの居場所」では、型抜きで残った人参やウィンナーを使ってパンケーキをみんなで作りました。子どもたちで考えてウィンナーの串焼きも登場しました。



●こどもの居場所。

ひこうせん 82人

日	曜日	人数	日	曜日	人数
12/1	金	11	15	金	4
4	月	8	18	月	8
6	水	12	20	水	6
8	金	8	22	金	6
11	月	9	25	月	8
13	水	2			

スタッフのべ23名で運営しました。

●えんがわ14人ひこうせん食堂251食

日	曜日	えんがわ	ひこうせん食堂
6	水	10	115
20	水	8	100

スタッフのべ21名で運営しました

12月は学校でもインフルエンザが流行り、学級閉鎖で子どもが2人の日もありました。

ありがとうフードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことを言います。

ひこうせん食堂も諏訪地域振興局から支援物資をいただきました。

ほか、多くの方々からも寄付金や献品をいただき、ありがとうございました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



2日間連続開催 でサプライズ

箕輪町 Pur みんなの学校

12月の「Pur みんなの学校」は、17日（日）と18日（月）の連続開催。17日は子ども23名と大人13名の合計36名の参加でした。



パネックス様からいただいたクロワッサンにトマトをはさんでサンドイッチにしました。また、バロー様からいただいた麺でおいしい焼きそばができました。



トマトとりんごジュースは、NPOホットライン信州からいただきました。



18日は、子ども34名と大人20名の合計54名の参加でした。

スターバックスコーヒー様が総勢8名で、バリスタ体験に来てくれました。子どもたちの放課後の居場所開催日で、何も知らない子どもたちをサプライズで招待しました。



地元のテレビ局と新聞記者が取材に来てくれました。

そのあと、クリスマススペシャルディナーを食べました。



毎週月曜日の居場所、おもちゃ図書館、リユースルームも好評で、たくさんの利用者さんがお越しくださいました。ひとり親家庭のフードパントリーも大変喜んでいただき、生理用品、トマト、パン、高野豆腐、卵が配布できました。

楽しく過ごした クリスマス

長野市 古里こどもカフェ

12月3日(日)の「古里こどもカフェ」は、近隣の公共施設「かがやきひろば東北」とのコラボ企画として、クリスマス会を開催しました。子ども31人を含む62人の参加者でした。

ランチには、お弁当、コーンスープ、ミニケーキを用意。



クリスマスツリーの飾り付けから始まり、ガラポン、ビンゴゲーム、じゃんけん大会、マジックショーと、皆さんの楽しい声が響きました。

別室で行ったフリーマーケットには、施設に通うお年寄りもたくさん立ち寄ってくださり、とても素敵な交流となりました。



12月24日(日)、古里こどもカフェ事務所で冬休みの食材支援を行いました。事前にスタッフで検討し要望のあった物などを購入し、36世帯136人分それぞれの家庭ごと箱詰めしました。



ちょうどクリスマスイブということで、早朝からオードブルを手作りして一緒にお渡ししました。NPOホットライン信州を通じていただいたヤムニョンチキン、キムチ餃子を使い、ほかに照り焼きチキン、フライドポテト、メンチカツ、マカロニポテトサラダ、フルーツなどで飾り盛り込みました。

また、企業からいただいた冷凍チョコチップビスケット生地を焼き、ラズベリージャムをサンドしたスペシャルなクッキーを子どもたちに手渡ししました。

「オードブル、食材の冷凍スープなどで今年はとても素敵なクリスマスイブになり、子どもたちも大喜びしてくれうれしかったです！」と感謝の声がたくさん届きました。スタッフみんなで早朝からがんばった甲斐があり、とても感激しました。



<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



毎週水曜に開催 多世代の交流場

松本市 信州みんなの食堂

12月の「信州みんなの食堂」は毎週水曜日、夕方3回と昼間1回の4回開催し、子ども113人を含む180人が参加しました。

6日は夕方開催。松本大学から寄付されたもち米で餅つき。餅つき機で仕上がった餅は、素早く丸めて黒ゴマときな粉で味付け。おやつや食事で食べました。多くの子がおかわりできて大満足。2升近くあった餅もあっという間に食べきりました。



13日は、安曇野市から読み聞かせボランティアのご夫婦が来てくれて大型絵本を読んでくれました。食事時には学区内の学校長が初来場。子どもたちと同じテーブルで食べたり、食後に宿題を教えてくれたり。「また来てね」と声をかける子もいて、ここが居場所として定着したようです。地元の川魚店から「信州サーモン」と「鯉のあら」を卸売価格で譲ってもらいました。

家庭ではなかなか味わうことができない貴重な魚で 松本の川魚文化を伝えました。



20日は、宿題の合間にカップケーキの飾り付け。寄付のキウイ、バナナ、クッキーやイチゴを乗せて冷蔵庫へ。全員でクリスマス気分を味わいました。また、国際サンタ松本支部から子どもたち一人ひとりにクリスマスプレゼントが届けられ、どの子もいい顔しながら受け取りました。



27日は昼開催。小学校の終業式を終えて12時過ぎに到着した子どもたち。お腹ペコペコさんたちのために、すぐ配膳に取りかかりました。



この日は開催52回目。これまで多くのの方々からさまざまな寄付をいただき、運営を軌道に乗せることができました。皆様からの温かいご支援に感謝申し上げます。これからも、子どもを中心にした多世代交流の居場所づくりを進めてまいります。

笑顔で迎える年を 明るく迎える年

松本市 年越し信州子ども食堂 in 島内

12月30日(土)、「年越し信州子ども食堂 in 島内」を松本市島内公民館で開催し、子ども112名を含む約218名が参加しました。「長引くコロナ禍と急激な物価高騰で苦労している子どもと家族が年末年始を明るく笑顔で迎えて欲しい!!」と、本格手打ち年越しそばを提供したのをはじめ、温かうどん・高野豆腐・お米・ドーナツ・たまご・お菓子・野菜・生活用品・生理用品など支援物資を配布しまし



市民タイムス 2023年12月31日(日)

た。

東方そばの会同志会様の「年越しそばの持ち帰り用」と「あったかうどん」などが振る舞われました。

松本市寿北5のNP
O法人ホットライン信
州は30日、同市島内公
民館で「年越し子ども
食堂」を開いた。新型
コロナウイルス禍や物
価高騰の影響を受ける
島内地区の東方そば
の会同志会が打った持
供した。

松本で年越し子ども食堂

温かい食事で笑顔に

「なでしこの会」の中
田優子・木曾部会長ら
が8セット約30人分を
届けた。宮木園長は
「昔ながらの習わしに
触れる機会にもなる」
と応じた。
(向山 均)



ち帰り用の年越しそば
120食も配布した。
松本市在住で小学生の
子供2人と一緒に訪れ
た母親は「いろいろな
提供された温
かいうどんを
食べる来場者
物をいただけ
る」と感謝し
ていた。
同法人の青木正
照専務理事は「個
人や企業から善意
で提供品を寄せて
いただいた。生活苦の
方々が厳しい物価高を
乗り越えてくれたら」と願っていた。
(石川 鮎美)

エクセラン高校生による綿あめとポップコーンの配布もあって多くの子どもと家族の笑顔があふれていました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [フリーダイヤル 0120-914-994](http://hotline-shinshu.jimdo.com/) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



ボリューム満点 おみやげも多数

松本市 信州子ども食堂 in 松本どん

1月11日(木)、「信州子ども食堂 in 松本どん八」は、子ども76名を含む132名が参加。メニューは、企業様等からの食材をふんだんに活用したロコモコ丼でした! はやしは様トマト、小松種鶏場様の卵、企業様からのハンバーグやキノコとボリューム満点でした! 大原学園様のご協力で、温かい場所での夕飯。「お腹いっぱい!」との声がとても嬉しかったです。



トライ式高等学院生の綿あめやエクセラン高校生による辰の折り紙カレンダーも大人気! 真剣に辰を折っている姿がとても微笑ましかったです。「上手にできたよ」と嬉しそうに見せてくれました!



お土産には、アプロ様のお菓子や長野牛乳様の牛乳、はやしや様トマト、小松種鶏場様の卵、お米、玄向寺様のドーナツや野菜などをたくさんいただき、「とても助かります! ありがとうございます!」とお母さんの感謝の声でした。信大生やご協力いただいた



2月8日(木)は、先日に積もった25cmの雪かきからはじまりました。参加者は、子ども75名を含む131名でした。

メニューは、どん八の海鮮丼とキノコのみそ汁、炊き出したいみらい様による肉まん。食べてみてびっくり、ゴロっと大きなお肉が入った肉まんは食べ応えバツグンでした。今回も大原学園様をお借りし、エクセラン高校生によるポップアップカードと食事を楽しみました。



お土産には、ティンカーベル様やアプロ様のお菓子、サヴァンシアフロマージュ&デイリージャポン様のチーズ、農家様からのお野菜、鍋つゆやお米などをたくさんいただきました。

信大生やトライ式高等生などがボランティアに来てくださり、賑やかな子ども食堂になりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



マスコミも注目 年末年始の取組

長野市 信州子ども食堂 in 松本学び塾

11月25日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in 松本学び塾」は、子ども86名を含む132名が参加。メニューは、スープ餃子・おにぎり・おやきなど。スタッフは餃子づくりに熱中していました!



公園では、紙芝居やおさがり会、綿あめなど。お菓子のプレゼントに子どもたちは大喜び。

お母さんたちも、JA様からのお餅やお米、おやきに野菜など、たくさんのお土産を手に嬉しそうでした!

ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



12月23日(土)は、子ども96名を含む142名が参加。メニューは、お寿司ランチなど5種類のお弁当、パフェ、厚海様の手作りXmasケーキなどでした!大原学園のロビーを借り、みんなでお腹いっぱいXmasメニューを食べました!



公園では紙芝居やおさがり会、綿あめなど。サンエイ様やサンタクロース、トナカイからのXmasプレゼントに子どもたちは大喜び!お母さんたちもJA様からのお餅やお米、食パン、おやきに野菜など、たくさんのお土産を手に嬉しそうでした!ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



子どもたちへのプレゼントにお菓子を袋詰めする様子が、2023年12月24日の市民タイムスに載りました。



クリスマス用お菓子贈る

松本子ども食堂 大原学園で

NPO法人ホットライン信州が主催する「信州子ども食堂」が「まつもと学び塾」が23日から提供された菓子を

松本ケンケイ高等学校へアドネーション同好会・AHD30や、大原学園の学生がクリスマス用に袋詰めをして、子供たちにプレゼントした。生徒たちは、スナック菓子を透明なビニール袋に入れ、赤いひもを結んで贈り物にした。同好会は、活動を応援する団体から受けた支援金のうち余剰分をホットライン信州に寄付もした。部長の黒田香椰美さん(17)は「子供たちが喜んでくれたらうれしい」と話していた。

子ども食堂は松本駅前記念公園で開いているが、寒空のため同校ロビーを厚意で借りた。親子が提供された弁当やデザートを食べた。大原学園の学生が準備や片付けを手伝った。(真田尚子)

1月27日(土)は、子ども98名を含む148名が参加。メニューは、牛丼・寿司・玉子・トマトなどの数種類のお弁当。大原学園のロビーを借り、エクセラン高校生による紙コップ工作は、子どもたち楽しさいっぱい。この日は、テレビ信州が取材に訪れた。



公園では、「地震が起きたらどうするか」の紙芝居やおさがり会、綿あめなど。サンエイ様のお菓子のプレゼントに子どもたちは大喜び！お母さんたちも、ご寄贈の手提げ袋に、お餅やお米、瓶牛乳・野菜など、たくさんのお土産を手に嬉しそうでした！ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



いつ起きても、おかしくない…地震対策について、子どもたちによる紙芝居と、非常食の実践をしました。



過去最高の参加 大盛況で長い列

松本市 信州子ども食堂 in バロー南松本店

1月14日(日)、松本市のバローで開いた「信州子ども食堂 in バロー南松本店」は、参加者234名(うち子ども124名)と、前半・後半とも大賑わいでした。



メニューは、手作りおはぎとバローパン、豆腐に牛乳、綿あめ、アイス。
お菓子釣りゲームや中学生が作るバルーンアートは子どもたちに大人気。「こども広場」では、高校生らによるカレンダー作りや紙芝居、カルタを子どもたちが楽しんでいました。



帰りは、お米やトマト、お菓子などの食材を無料配布。「物価高騰の中、とても助かります」と、感謝と喜びの言葉をたくさんいただきました。



2月11日(日)は、過去最高の参加者約380名(うち子ども264名)と、店内に長蛇の列が続きました。



メニューは、手作りホットケーキとバローパン、豆腐に飲み物。今回は、ピザラ様からのピザ52枚416ピースの寄付もあり大盛り上がりでした。美味しいピザを食べながら、中学生が作るバルーンアートは子どもたちに大人気でした。



「こども広場」では、エクセラン高校生らによる飛び出すカード作りや紙芝居、カルタを楽しんでいました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



意識を持って 災害に備えを

松本市 寄り添いこども食堂

1月22日(月)、今年最初の「寄り添いこども食堂」には、こども61人を含む116人が参加しました。比較的暖かい1日で、準備中にわか雨が降ったためか、虹を見ることができました!



メニューは、焼き肉弁当と甘くて温かいお汁粉。お弁当は焼き肉、野菜炒め、高野豆腐の煮物、黒豆、春雨サラダと盛りだくさんに、おいしくできました。



「突然の災害にわたしはどうする?」

元日に北陸で大きな地震がありました。災害はいつ訪れるかわからない、ということを変えて考えさせられる年明けでした。各こども食堂でも災害に備えておく食品やグッズ、豆知識など紹介しています。今回は、保存食のカレーとビスケットの配布、非常用トイレと防災グッズを展示・紹介しました。また、新聞紙で作ることができるスリッパを作りました。実際に履いてみると思った以上にしっかりしていると思いきや履きやすかったです。普段から防災意識を持っていることが大切だと思います。



NPO ホットライン信州を通していただいた鏡餅、鍋のつゆ、パンなどたくさんの物資もお渡しすることもできました。

今回もたくさんの皆様の参加、ご協力ありがとうございました。

市民タイムス 2024年2月28日(水)

地元こども食堂に寄付

山辺中学生徒会 缶回収で



田口さん(左)に寄付金を渡す生徒たち

松本市の山辺中学校 域貢献を目的に全校で生徒会は26日、地元の山辺地区で運営されている「多世代寄り添いこども食堂」に、64こども食堂に、35円を寄付した。地

前生徒会長の花岡未歩さん、ともに前副会長の倉田直拓さん、横山千穂さんが開催場所を訪れて、こども食堂代表の田口恵子さんに寄付金を手渡した。花岡さんは「食材の購入に使って下さい」と話し、田口さんは「来月、ちらしずしを作って提供する予定。材料費に使わせて頂くと礼を述べた。生徒たちはこども食堂の取り組みを全校に伝えるため、生活物資の配布や学習支援などの活動を手伝って体験した。生徒会は3月に、空き缶回収の収益金を市役所を通じて、能登半島地震の被災地に義援金として贈る。

(石川 鮎美)

＜編集＞信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



遊びも学びも こどもの居場所

富士見町 こどもの未来をかんがえる会

富士見で開催された1月のこども食堂「ひこうせん」は、子ども186名含む363名が参加しました。ボードゲーム毎日 みんなで夢中になって遊んでいます。

2月は子ども196名含む396名が参加しました。こどもの英語の学びが始まりました



大学生といっしょに6年生を送る会の作戦会議



絵本の読み聞かせ

●こどもの居場所。

1月

ひこうせん 65人

日	曜日	人数	日	曜日	人数
1/10	水	12	22	月	6人
12	金	11	24	水	13
15	月	6	26	金	10
17	水	8	29	月	9
19	金	8	31	水	5

スタッフのべ22名で運営しました。

●えんがわ21人ひこうせん食堂227食

日	曜日	えんがわ	ひこうせん食堂
10	水	10	116
24	水	11	111

スタッフのべ26名で運営しました



自家製太陽光発電のバッテリーをさわって電気について考えました。

●こどもの居場所。

2月

ひこうせん 85人

日	曜日	人数	日	曜日	人数
2/2	金	9	16	金	10
7	水	7	19	月	7
9	金	6	21	水	10
14	水	15	26	月	7
			28	水	17

スタッフのべ20名で運営しました。

英語でおしゃべり 80人

日	人数	日	人数	日	人数
	6	13	20	27	
人数	6	6	9	9	

スタッフのべ8人

えんがわ18人ひこうせん食堂233食

日	曜日	えんがわ	ひこうせん食堂
14	水	16	106
28	水	12	127

スタッフのべ26名で運営しました

●ユースセンター

マルイチ復活プロジェクト 22人

●イベント 17人

22日はなうた	4人
23日インスタグラム入門講座	12人
26日ノーコードで作るアプリ講座	1人



スマホやゲーム機など電子機器を使わないで遊ぶボードゲーム。箱いっぱい、いろいろな種類をそろえました。毎日、みんなで夢中になって遊んでいます。

2月から学びの場「英語でおしゃべり」などもはじめました。

<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



家計 助ける 物資 配布 に 長蛇 の 列

長野市 信州子ども食堂

1月20日(土)、長野市の「信州子ども食堂」は、長蛇の列。子ども188名を含む280名が参加しました。メニューは、つきたてお餅4種(あんこ・きなこ・ごま・いそべ)を楽しみました♪ また、子どもたちが大好きなピザラさんがピザをなんと50枚もご寄贈くださり、みんなでおいしくいただきました。



フードパントリーの物資は、パンやお米、鏡もち、カレールー、ベーコン、ハム、チーズ、大きなトマトと有精卵の玉子など家計を助ける物資の数々、ご協力くださった皆さまありがとうございました。

毎月、子どもたちが楽しみにしているサンエイさんは、駄菓子屋さんを開いてくれました。思い思いに好きなお菓子を選ぶ楽しみは貴重な体験でした。また、災害用支援物資を展示、配布し、災害に対する備えを共有しました。



2月17日(土)の参加者子ども210名含む310名、メニューは、ご寄贈のあったパンと卵、ジャム、ジャガイモなどをふんだんに使ったサンドイッチ弁当でした。フードパントリーの物資は、パンやお米、鏡もち、カップ麺、鍋つゆ、野菜、ティンカーベル様のたまごパン、ヤクルト様のドリンク。子どもたちは、紙芝居やぬり絵、実際に防災用品を手に取りながら防災について学びました。また、リコー様がフードドライブで集め食品なども子どもたちに渡しました。サンエイ様のお菓子やアメすくいも大好評でした!



ろうきん長野本店より、車載用冷凍冷蔵庫をご寄贈いただき、贈呈式を行いました。生鮮食品やアイス等の保管に活かさせていただきます。ご協力くださった皆さまありがとうございました。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



ぬり絵に紙芝居 たくさんお土産

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



2月24日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は、子ども98名を含む145名が参加。長蛇の列ができました。

メニューは、海鮮丼や牛丼とお吸い物。玄向寺さん(下写真右)がお菓子と果物、洗剤などを届けてくれ、ティンカーさん(下写真左)が玉子パンを届けてくれました。



大原学園のロビーでは、キューピー様からいただいたイースターのぬり絵を楽しみました。



エコバッグに1.1能登半島地震で被災された方々へのメッセージを書きました。



公園では信大生による「突然の災害にどうする」の紙芝居やおさがり会、サンエイ様のお菓子のプレゼントに子どもたちは大喜びでした。



お土産は、お米、野菜、トマト、アイス、鍋つゆ、ドーナツ、カップ麺、瓶牛乳など、たくさんの品物を手にうれしそうでした! ご支援いただいた皆様、学生ボランティアさん、ありがとうございました。



信州子ども食堂 in 松本 学び塾 をテレビ信州が取材



調理に勉強に ゲームも楽しい

松本市 笑和はうす

松本市の「笑和はうす」こども食堂、2月は10日（土）と25日（日）の2回開催。あわせて子ども40名含む72名が参加しました。



10日は、大好評の調理活動。チョコチップクッキーとクリームチーズのコロコロボールを作りました。ホットケーキMIXに、油と牛乳、チョコチップを袋に入れて、こねこねし、好きな形に成形。ハートやうさぎの形にする子もいて、美味しいクッキーが焼き上がりました。



その後も、学習の時間やスクリーンのゲームや体操で楽しい時間が過ごせました。

メニューは、トマトの炊き込みご飯、ツナサラダ、コロッケ、ウィンナー、ほうれん草の胡麻和え。デザートには、シャトレゼさんのケーキ。

お土産には、NPO ホットライン信州からのエリーゼ、ヤクルト、トマト、野菜、りんご、と盛りだくさん。笑顔いっぱいの笑和はうすでした。

25日は、囲碁ボールやモルック、ボーリング、輪投げを用意。小さい子から大人まで体を動かしました。初めて挑戦する子も多く、ワクワクがとまりませんでした。

勉強時間も、習慣化してきて、みんな真剣に取り組んでいました。



メニューは、カレーピラフ、春雨サラダ、鶏肉のマーマレード焼き、かぶの煮物、ほうれん草炒め、たまごサラダ。地域の農家の大和田さんが、採れたてのかぶとほうれん草をたくさん届けてくれたので、さっそく使いました。



市民タイムス 2月28日(水)

笑和はうすの運営担当
大久保葉月さん(38) 新村

子供たちの居場所 **こんには**
所づくりに取り組む「笑和はうす」は新村公民館で活動している。調理体験をしたり、工作をしたりして参加者は和気あいあいと過ごす。昨年末には

子供の居場所つくる
皆であんこやきなこの餅も味わった。楽しさや喜びを伝えてくれる子供の言葉を聞くと、やりがいを感じる。「誰でも来ることができる場所にしたい」と思い描く。




2024.1.1 能登半島地震、水・物資が不足！ 過酷な状況緊急支援

NPO ホットライン信州の年末年始 24 時間無料相談中、2024 年（令和 6 年）1 月 1 日 16 時 10 分能登半島地震（石川県の能登半島地下 16 km で発生した地震の気象庁マグニチュード M7.6 は、石川県輪島市門前町走出と同県羽咋郡志賀町香能で震度 7）が起きた。

その数分後、当事務所も相談中に震度 3 程度の揺れが起きた。



ホットライン信州は、直ちに支援物資の配送に準備に入った。

携帯電話は、一斉に鳴はじめ、次から次と…地震の様々な相談が入ってきた・・・。



NPO ホットライン信州 ♡ 2024・1.1 能登地震被災者支援物資送る

2024 年 1 月 1 日能登半島を襲った大地震を受け、NPO ホットライン信州は、直ちに被災者支援に向けた 4 つの支援物資を 1/2 日確保。4 日(木)テレビ信州で放映・5 日(金)信濃毎日新聞・市民タイムスに掲載されました。



▲ NPO ホットライン信州 本部事務所



▲ NPO ホットライン信州 塩尻事務所



被災地支援 民間からも

こども食堂の運営・支援をする松本市寿北 5 の NPO 法人ホットライン信州は、生活物資を送る準備を進めた。食料品や子供用の肌着など必要とされそうな品をリスト化し、現地行政や団体からの要請に備えている。青木正照専務理事（74）は「長期にわたって支援をしていけたら」と先を見据えた。



今も余震が続く中、不安な生活が続く被災地。県内からも食料や生活用品など支援の動きが広がっています。県内各地で子ども食堂の運営などにあっているNPO ホットライン信州。4日は、被災地支援に向けて食料や生活用品などをまとめていました。



NPO ホットライン信州「受け入れ態勢が被災地でどの程度できるか問題があるが、態勢さえできれば、今ある物資を早急に送れるような態勢をいくつかつくりたいと思っている」 当法人では日頃から子ども食堂などに使う物資を企業や団体などから提供を受け、備蓄しています。

これまで東日本大震災や熊本地震などでも被災地に送ってきました。支援物資の中には、食料や生活用品のほかにも簡易用のトイレなど、防災用品も準備しています。

NPO ホットライン信州「子ども用のおやつみたいなのも。子どもの喜びの顔がみなさんの子どものために頑張らなければという、生きる活力につながっていく」



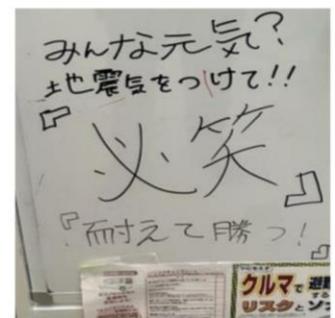
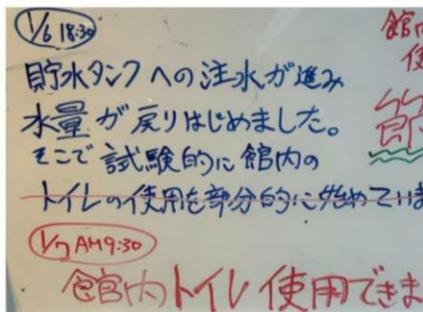
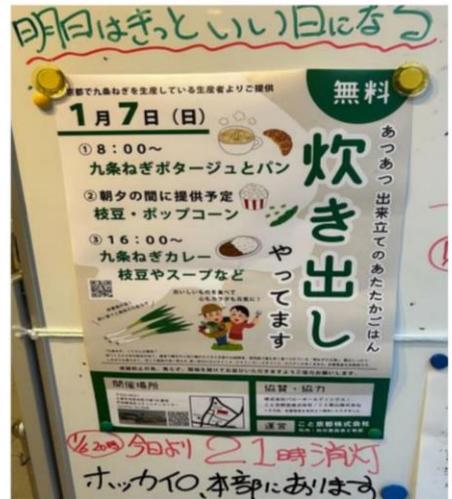
被災地へ信州からも支援の輪広がる NPO ホットライン信州

♡♡ 1.1 能登地震被災者 支援物資送る !!

食料品や生活用品送る体制ができ、能登半島地震の発生から6日目。6日朝も震度5強の揺れが被災地を襲い、不安と隣り合わせの生活を強いられ、今も断水が続く七尾市1/5時点で、600名以上避難されている矢田郷コミュニティセンターに入っている、1/7日の朝夕食を提供するパローの栗田一成さんからの情報が刻々と伝えられています。

「同じ場所に泊まりましたが、長椅子や床で寝ている方も多く、不審者もいるようで、疲れも取れず、お風呂はまだ全然入っていない…安心もできない環境です。」また、「炊き出しをやってる方も、自営業をやっていたが、お店も自宅も半壊して…、手が出せない、とりあえず避難したが、やることがないので、自分のできる料理を精一杯やっているとのこと。数百名の朝晩の料理は、大変であり寝れていないようです。」

等々早急支援が必須のようです。



NPO ホットライン信州 ♡♡ 2024・1.1 能登地震被災者支援物資送る

1月7日(日)、600名以上避難されている、新潟県七尾市矢田郷コミュニティセンターに、除菌ウェットティッシュや 冷えピタ、経口補水液OS1、龍角散タブレットなど6セット(右写真)を送りました。

また、新潟県上越市のPO法人体験型フリースクール様から14箱配送された。



松本市玄向寺さんは、9日頃被災地に入ることが支援物資を届けていただくことになりました



能登半島地震1週間→食事も物資も不十分過酷は続く!!

昨日7日の支援



1月7日(日)、600名以上避難されている、石川県七尾市矢田郷コミュニティセンターに支援物資を送る



物資-8日受取る

パローの栗田と申します。パロー南松本店で信州子ども食堂に菓子パンなどを提供しております。繋がりのある、七尾市に地震が襲い、1月7日の朝夕食を提供しに12名で七尾市に入りました。炊き出しだけでなく、信州子ども食堂でも実施している綿あめも提供したところ、子どもたちにも自分たちで作ってもらったり、親さんからも好評を頂きました。信州子ども食堂で経験したことをそのまま実施したことが、七尾市の避難者の方が前を向くことができることがよかったです。現地では厳しい状況を数多く見聞きました。我々ができることは、離れていても支援できることを継続し、前を向いてもらえるように、よりそう気持ちを持つことだと思います。



(被災地のスタッフよりお礼の言葉)
 少しの地震でも「また大きいのが来るのでは?」と不安な日々ですが、全国、世界からこうやってくる救援物資を見るたびに「1人じゃないんだ」と心の支えになっております。まさにNot Alone 能登半島は必ず立ち上がります。その時にはぜひ遊びにきてください。その日まで引き続きご支援宜しくお願い致します。本当に感謝です。



被災の能登 中信から支援



支援物資を車に積み込む青木さん(右)

松本市のNPO法人ホットライン信州は9日、石川県穴水町に炊き出し支援に向かう長野市の飲食店「炭火焼肉ジンギスカンもんも」のオーナー

現地へ必要な物資託す

松本のNPO ホットライン信州



NPO ホットライン信州は、9日(火)支援物資を長野市の炊き出しチーム(もんも食堂)に、新鮮なトマト等物資をボックスカーにいっぱいに積み込み、被災地に向かった



NPOホットライン信州 長野市の炊き出しチームと合同で支援物資を車両に積み込む



NPOホットライン信州 長野市の炊き出しチームと合同で支援物資を車両に積み込む

1月9日(水) テレビ信州で屋と夕方に、放映される。

NPO ホットライン信州

↓

みんな元気に…「必笑!!」耐えて勝!!

2024・1.1 能登半島地震被災者 支援物資

星野さんは「温かい食べ物」を届け、少しでも元気になってほしい、青木さんは「何とか力になりたい」と力を込めた。

星野さんは「温かい食べ物」を届け、少しでも元気になってほしい、青木さんは「何とか力になりたい」と力を込めた。

みんな元気に…「必笑!!」耐えて勝!! Not Alone 能登半島は必ず立ち上がります。



私たちが力になってくれるだけ支援していきたいという気持ちでいっぱい



NPO ホットライン信州は、1月6日と17日に、上田市のまるこ福祉会(こども食堂きらっと)の防災や備えの学ぶ催しに参加しました。

NPO ホットライン信州 2024・1.1 能登半島地震被災者支援物資

1月17日は29年前、6400人以上が犠牲となった「阪神・淡路大震災」が発生した日です。NPO ホットライン信州は、上田市のまるこ福祉会(こども食堂きらっと)の防災や備えの大切さを学ぶ催しに、参戦し!!、「突然の災害に備える!!」知識を発信しました。

2024年1月17日(水)NHK テレビで放映された



NPO ホットライン信州は、「突然の災害に、私はどうする!!」と問いかね、災害時での食糧備蓄の必要性やトマト・たまごなど食べ物や食べ方などを説明した。



被災地-能登で信州子ども食堂炊出し 能登被災地に支援物資が届き活用される！

3月4日(月)～7日(木)まで、信州子ども食堂「信州レスキューキッチンカー」が能登輪島市被災地で炊出しと物資の配布を行いました。😊



3月5日(火)昼に避難所の輪島市立門前中学校にて、牛しぐれ煮うどん、おやきを100食提供。タオル、化粧品、コーゲンドリンク、避難所の老人ホームゆきわりそうにて、うどんとおやき60食提供。避難者の皆さんから、「とても美味しかった」「化粧品をどうもありがとうございます」とお礼をたくさんいただきました。



3月4日(月)NPO ホットライン信州松本本部から能登半島地震の被災地支援物資の詰め込み作業を信州レスキューキッチンカー3人が行った。物資は、おやき・肉まん・国牛しぐれ煮・トマト、水・ドリンク・タオル・化粧品・生理用品など約700キロ積み3/7日までの4日間の炊き出しを行いました。



うどんトマト、おやき が好評で笑顔！



市民タイムス

令和6年(2024年)3月6日 水曜日

能登の被災地に支援物資

衛生用品や食料など ホットライン信州が送る

能登半島地震の被災地に支援物資を送るメンバー



松本市寿北5のNPO 震の被災地に支援物資を届ける。O法人ホットライン信州は4日、能登半島地震の被災地に支援物資を送った。同法人が支援することもある信州子ども食堂の実地。被災者に届ける。

県内外の支援者が同法人に寄せたタオルや化粧品、生理用品などの衛生用品のほか、水や米、野菜などの食料を車2台に積んだ。同法人が支援する「信州レスキューキッチンカー」のメンバー3人が車で輪島市に入り、5日から7日まで、市内の避難所や福祉避難所で炊き出し活動や物資の配布をする。

信州レスキューキッチンカーの菅原久美子さん(44)は「避難が長期化する中で、被災者においしいものを食べてもらい、頑張ろうと思えるようになってほしい」と話していた。(久保田貴大)

3月7日の炊き出し情報
会場：マリタウン入口の中浦屋さん

朝7時より
信州あぶり肉まん

朝11時半より
国牛しぐれ煮まぜうどん
信州おやき

午後1時に終了

ご提供

信州レスキューキッチンカー
NPOホットライン信州
子ども食堂ネットワーク



3月6日(水)福祉避難所の門前かえでの家、うどんを80食提供。スポーツドリンク3箱、チキンライス2箱、生理用品2箱、除菌ウェットティッシュ5箱を寄付しました。



3月7日(木) 輪島朝市にて、自宅避難者に対して、肉まん200食、うどん88食を提供。米、水、エリゼ6箱、トマト、ネギ、トイレットペーパー、スポーツドリンクを寄付。自宅避難でも上下水道が使えない状況。「遠いところから輪島に来てくれて本当にありがとう」とお礼をいただいた。



スポーツドリンク3箱、チキンライス2箱、生理用品2箱、除菌ウェットティッシュ5箱を寄付しました。



炊出しを待ちわびる、開始前に並び被災者の皆さん

3月5日(火) 私どもの仲間「炊き出し隊みらい」が輪島市で被災者に食事を提供、NPO ホットライン信州提供の「おやき」が喜ばれている (SBCテレビで3月8日放映)



輪島市の住宅半数以上が全壊しそのまま放置(3/5 時点)

コロナ禍と物価高騰での活動!

たべものをすてるのは もったいない! フードドライブ のしくみ



いただきます

長野県庁や市役所、また、ライオンズクラブなど多くの皆さんより集めます



うち お家やお店、会社やなどから



ありがとう

ご家庭や子ども食堂などへ



さしあげます



とてもおいしい
ありがとう

明日を開く 3つの意義



SDGsの“環境の上に社会・経済が成り立つ”

いまこそ①環境保護、②社会的包摂、③経済開発（SDGsの持続可能な3要素）の考えのもと、弱い立場にいる人のことを同じ立場で理解して、環境や人権を理解し、子ども食堂を通じて持続可能な地域を社会をつくる時



特定非営利活動法人 NPOホットライン信州「信州子ども食堂ネットワーク」は国連がめざすSDGs（持続可能な開発目標）を支援しています



コロナ禍における、フードドライブ ・フードバンクにフードパントリー

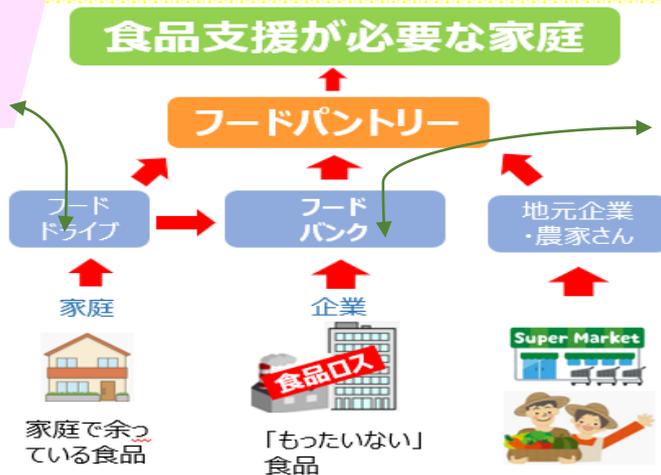
フードパントリー
ってなあに？

食材を配布する場所(NPO ホット
ライン信州・信州子ども食堂)です。



フードドライブ
ってなあに？

集まった食品
を、食事に困って
いる人や子ども
食堂に届けます。



フードバンク
ってなあに？

おうちで眠って
いる食品を持ち
より集め福祉団
体に寄付します。

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレー！ フードドライブ信州子ども食堂応援リレー

フードドライブ&パントリー

日時 2024年4月13日(土)11時
場所 長野県松本合同庁舎



日時 2024年5月3日(土)11時
場所 長野市役所第一庁舎1階



ご寄贈していただきたい品物

【食品】菓子、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、カップ麺など

【お問い合わせ先】フードドライブや子ども食堂のこと、支援のご希望やご相談などもおよせください

主催 :特定非営利活動法人 NPOホットライン信州 (信州子ども食堂ネットワーク事務局)
〒399-0011 松本市寿北 5-4-28-1  0120-914-994

こども食堂のつくり方

こども食堂には、いろいろな形と多様性がありますが、「こうでなければ」という決まりはありません。

「なにかをはじめたい」という方のために「こども食堂のつくり方」のイメージを簡単に紹介します。

まず 準備として
イメージしてみましょう

- 月に何回開くか
(月 1~2 回が多い)
- 1 回の利用者数は何人か
(1 回 20~30 食が多い)
- どんな人に来てほしいか
(子ども・親・サポーター)

他地域の実施例を見学

「長野県各地の『こども食堂』」を参考に、お近くのあるいは自分の思いと共通するような場所へ見学に行ってみましょう
(公民館・お寺・個人宅など 数力所見学)

よし！ やってみようと思ったら、まず **実行**

仲間を集めましょう

開催の周知や会場の準備、食材の手配、料理、片付けなど、仲間と分担するのがおすすめ

「場所とネットワークを」はじめてから仲間や協力者が増えていくこともあります(食材を提供する方、調理師・栄養士の方、資金の提供者やボランティアの募集)

<実際に考えるあれこれ>

●場所

公民館などの公共施設、お寺、個人宅、飲食店など。利用者数にあわせて、無料または安価で利用でき、こどもたちが集まりやすいのが良い。

●運営費

場所代、光熱水費、食材費(子ども無料・大人100~300円のカンパ)、チラシ作成などの宣伝費

●周知・呼びかけ

こどもたちへどのように知らせるか。どんな人に来てほしいか。どんなチラシを何枚作り、どこへどのように配るか。

●当日の運営方法

準備の開始から調理、片付けまでの段取り。食事提供以外の企画。役割分担。総括と次回への活用。

信州こども食堂ネットワーク保険加入について

NPOホットライン信州では、こども食堂の活動への参加者を対象とした賠償責任保険と障害保険に加入しました。対象者は、信州こども食堂への参加者(子ども、親、スタッフボランティアなど)が対象となります。

保険内容

賠償責任保険	身体財物	2億円
	管理財物	50万円
	人格権侵害	50万円
	事故対応費用(1事故・保険対応中)	500万円
	見舞費用 死亡	50万円
	後遺障害	2万円~50万円
入院日数に応じて2~10万円/通院日数に応じて1~5万円		
傷害保険	死亡保険金額	500万円
	後遺障害保険金額	500万円~20万円
	入院保険金額	5,000円
	手術保険金額	入院保険日額の5、10倍
通院保険日額	5,000円	

こども食堂に参加・活動していて・・・



怪我をしたとき、させたとき 食中毒等にかかったとき



保険の適用される条件として、信州こども食堂として活動していること

- ・開催の事前報告必須(当法人一覧表に明記)、チラシに「共催 NPOホットライン信州」だと完璧
- ・開催後の人数報告必須(子供・大人・スタッフ)、報告書や写真があれば完璧。
- ・信州こども食堂ネットワークでの「各こども食堂」への参加と食材・機材等の運搬などとなります。

子ども支援リレーの充実
「子ども用品・服などの無料提供と食品・子ども用品寄贈募集受付の検討」

《重要》 安全に細心の注意を！

こども食堂をはじめるとは、特別な資格はいりませんし、届け出を出す必要はありませんが、食べものを提供する以上、その安全には細心の注意が必要です。

信州こども食堂ネットワークでは、調理上の注意などをまとめた「衛生マニュアル」や「こども食堂サポートセンターの安心手帳」を推奨しています。



不測の事態に備えた保険加入は「**ホットライン信州**」

信州こども食堂ネットワークが応援します

運営方法はもちろん、県民や協力企業などからご提供いただいたお米・食材や子ども用品の分配、チラシの作成とNPOホットライン信州ホームページでの周知、「信州こども食堂ネットワーク便り」の編集、指導員・専門家の派遣など、「なにかをしたい」みなさんを応援しています

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレ

コロナと物価高に勝つ!おもしろいやり心

信州こども食堂応援リレーの紹介

「信州こども食堂」は、全国食支援活動協力会・全国フードバンク推進協議会を始め、協力団体・企業・お寺・個人など、多くの皆さまのご支援を賜っております。

お寄せいただいた寄贈品は、各地の「こども食堂」と必要とされている方への支援に生かしています。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。「信州こども食堂ネットワーク便り」

「SNS」等で掲載した一部を紹介させていただきます。(順不同・敬称略)



物価高を!おもしろいと
支え合う心で乗り切ろう!

いただいた食材をフル活用する信州こども食堂ネットワークの各食堂

「信州こども食堂ネットワーク」の各こども食堂では、県内外でご寄贈いただいた食材や食品を無駄なく活用しています。

また、余った食材などは、必要としている、子ども世帯の家庭に持ち帰っていただき、家族での食事などで活用して頂いております。

2023年6月~2024年2月までの当法人の取り扱い量は、**87万点・159t**のご寄贈品と配布させていただきました。

多くの皆様方のご支援ご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



「信州こども食堂」で、食材を有効に使いながら、子どもたちと一緒に、美味しく食べています。

全国フードバンク推進協議会や全国食支援活動協力会を通じて全国各地の企業様団体・個人様から、多くのご寄贈品が届いています。

ご寄贈していただいた、支援物資は「信州こども食堂ネットワーク」や「フードパントリー」を通じて、支援が必要な家庭に渡り、子どもと加須間の笑顔に変わっています。



子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

♥あしながおじいちゃんから ご寄付を戴きました

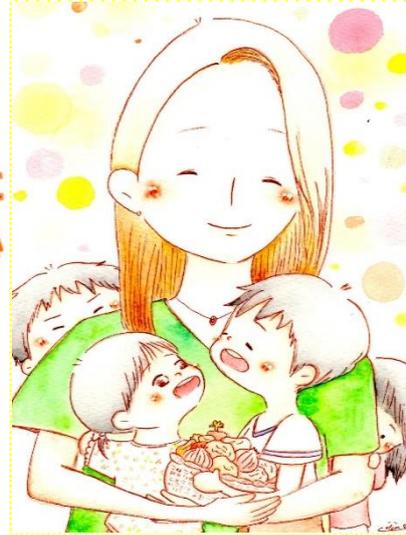
この度は、あしながおじいちゃんや MF、US、MK さんから「コロナ禍の影響で苦労している子どもたちのためにと・・・」
ご寄付を戴きました！
ありがとう
ございました。
愛・ラブ・ユ〜

ご寄付を戴き、感謝のお手紙です。

皆様のご寄付で、子どもたちが安心して生活するために必要な活動を通じて、多くの子どもや家族が救われ笑顔が増えています。



みんなで「おじいちゃん」感謝のポーズ。



女神さまは以下の方々です
TI/EI/SI、KY、KK、TM 様

女神さまから多くの「ご寄附や
ギフト・図書カード等をいただき
ておりまこと感謝しております。

(株)サンエイさんから「夢チャリティー寄付金」や「ボランティア活動」のご協力

昨年に続き、今年も株式会社サンエイさん社会貢献運動 SDGs の活動から「夢チャリティー贈呈式」にて寄付金を戴きました。また、社員の皆さんは、毎月信州子ども食堂長野・松本へのボランティア参加していただき、おかし詰め放題！わなげのゲームなど子どもと楽しんでいただいています。



(株)ジンコーポレーション(アポロ)のご協力に感謝!!



食品ロス削減と社会貢献
広がる子ども食堂支援

お客様の温かい気持ちが
子どもたちに伝わってくれたらと思います。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

マルハン松本店と川中島店様からご寄贈を受けました

マルハン松本店様と川中島店様からお菓子をそれぞれ戴きました。早速！信州子ども食堂ネットワークと支援物資を必要としている子どもやご家族の方にご活用しています。ありがとうございました。

子どもと家族を支えよう！
一人親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂



株)ジャックス松本支店様より
7月13日(土)米 30キ、昆布だし 4本、お菓子
セットクッキー3箱パイマン 30個、ミルククッキー
2箱、カレーおかき 36袋をいただきました。

富士見の池田さんご両親さんから
ご寄附や図書券を戴いています。

子どもたちは、文具類や参考書などを
買って勉強を頑張っています。



子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

子ども食堂応援プロジェクト佐久穂様から 玉ねぎ 50 ㎏をいただきました。

6月28日(水)、子ども食堂応援プロジェクト佐久穂の佐塚重人様から、玉ねぎ 50 ㎏を当法人に届けていただきました。

早速！長引くコロナ禍と物価高で苦慮している子どもと家族のために、信州子ども食堂ネットワークの各地子ども食堂に順次配っていきます。ありがとうございました。



子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂



松本少年刑務所さんから災害用備蓄品 300 袋いただきました。

7月26日(火) 松本少年刑務所さんから災害用備蓄品 300 袋(豚汁 150 袋・コッパン 150 個) 150 ㎏を子どもたちのためにと、お届けいただきました。

早速、コロナ禍と驚異的な物価高の影響で苦労している、家庭と届けております。また、来たる8月6日(日)の信州子ども食堂まつもと(松本合同庁舎)でも配布します。皆さんお気軽にご参加下さい。松本少年刑務所の皆さん、ありがとうございました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市の玄向寺様より子ども用学習机をさし上げます。



7月1日(土)松本市の玄向寺さんが お檀家様より子ども用学習机を頂戴しました。子ども用学習机は、写真をご高覧ください。サイズは、幅 100cm、奥行 65cm、高さ 73cmです。20 年ほど前に使用した中古品ですが、比較的綺麗な状態です。必要な方がいれば、引き取りにお越しいただければ、差し上げます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 長引くコロナ禍と物価高騰に負けないぞ！信州子ども食堂

ロッテ様から、アイスが、2 万個(約 2 t)いただきました
「コロナ禍と物価高騰」に勝つために！各地の信州子ども食堂にて活用



ロッテ様からアイスが、7月10日(月) 塩尻市 150 個～松本市 150 箱、7月11日(火) 上田市 150 箱、長野市 350 箱の約 2 万個以上が届きました。全国食支援活動協力会様を通じて、約 2t の美味しいアイスが届きました。ありがとうございました。

昨今のコロナ禍で物価高騰などで苦慮している子どもと家族のために、県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークと「各地域子ども食堂」や「必要としているご家庭」に 順次配らせていただいております。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 長引くコロナ禍と物価高騰に負けないぞ！信州子ども食堂

伊那市の(株)パネックス 長野工場様からパン 2,880 個のご寄贈！



8月25日(木)、伊那市の(株)パネックス長野工場様からクロワッサン 2,880 個(写真)のご寄贈を！受けました。早速！コロナ禍と物価高騰に苦労している子どもと家庭に信州子ども食堂ネットワークを通じて届けさせていただきます。🍞❤️

(株)パネックス長野工場様からの詰め込み

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂



塩尻事務所倉庫 受け取り

松本本部事務所倉庫 受け取り

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 松本市の玄向寺様より、野菜やパームクーヘンなどのお菓子等

8月24日(木) 松本市の玄向寺さんが お檀家様より頂戴しました、パームクーヘンや玉ねぎ・果物・おまんじゅう等約 120、1080 個を、子どもたちのために、夕暮れ時に届けてくれました。

早速、コロナ禍と驚異的な物価高の影響で苦労している家庭と 8月26日の信州子ども食堂 in まつもと学び館を皮切りに各地域子ども食堂で活用します。ありがとうございました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

上伊那郡の白心寺さんとお米 30 ㎏、砂糖・お茶・こひー缶、プリンなど寄贈

8月31日(木)、上伊那郡宮田村の白心寺さんから、お米 30 ㎏、砂糖 4 箱・お茶・こひー缶、プリンなど約 50 点を戴きました。

早速！信州子ども食堂まつもと始め、安曇野市、上伊那～飯田地域の子ども食堂、更に・・・生活困窮者支援に役立させていただきました。⇒長野県内外の「おてらおやつクラブ」の皆さんから、毎回「おさがり」として、戴いております。🍵ありがとうございました。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！

長らくコロナ禍と物価高騰に負けないぞ！信州子ども食堂

子ども食堂応援プロジェクト佐久穂から野菜450*₀のご寄贈を！



9月6日(木)、子ども食堂 応援プロジェクト 佐久穂(会長佐塚秀敏様)から、ジャガイモ240キロ、カボチャ210キロを当法人に届けいただきました。同会は遊休となっている農地を活用して野菜を栽培し子ども食堂の応援をすることを目的に結成されたとのことです。



子ども食堂応援プロジェクト佐久穂 佐塚重人 様

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-99 お願いします。

早速！コロナ禍と物価高騰に苦勞している子どもと家庭に届けさせていただきます。❤️ありがとうございます。

子どもと家族を支えよう！

コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市波田の大月農園さんから「スイカ」をいただきました。

9月9日(木)、松本市波田の大月農園さんから、収穫最後の大きな「スイカ」24玉240*₀をいただきました。😊
また、昨年の9月にも「なし」1200玉120*₀をいただき、今年3回目です。
信州子ども食堂ネットワークで、コロナ禍と物価高騰の影響を受けている子どもたちご家庭に宅配をさせていただきます。😊



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-99 お願いします。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

「美味しい クッキー」を1.1万袋いただきました。

9月28日(木)と(株) 八十二銀行長野市役所支店で、子ども食堂の勉強会を開催しました。NPO ホットライン信州青木専務は、信州子ども食堂の現状を報告「2020年6月に八十二銀行様からコーゲンレモンクッキーを10.5万袋のご寄贈を受け、多くの子どもと家族の笑顔が溢れた。2回目の今回も美味しいクックをいただくことに…」感謝を申し上げました。



コーゲンレモンクッキーを1.1万袋のご寄贈を受けた。
いただきましたクッキーは、10月6日(金)の「共食でつながるフェスタながの」配布します。



桜井当支店長は、「コロナと物価高騰の影響をうけている子どもたちやご家族の方々に、喜んでいただければ嬉しい…」「各信州子ども食堂や必要としている方に活用して欲しい…」とお言葉をいただきました。😊 ありがとうございます。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

上伊那の圓浄寺様と KEIZ 松本店様からご寄贈を受けました

コロナと物価高騰で苦勞している子どもと家族に支援を！

9月14日(木)に上伊那郡 宮田村の圓浄寺古縁宗志様より、「おすそわけ」お米15*₀と玉ねぎ15*₀(写真の30*₀当法人本部に届けいただきました。)
続く、9月18日(月)、KEIZ 松本店さんよりお菓子約1200個をいただきました。



また、増えてきましたコロナ感染者と超物価高で苦勞を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族の皆様にご利用していただきました。ありがとうございます。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-994 お願いします。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

松本市の玄向寺様と上伊那の圓浄寺様からご寄贈を受けました。

10月20日(金)に松本市の玄向寺様からお雑炊様より頂戴しました、ドーナツ600個とジャガイモ20*₀をいただきました。早速!!長野市で開催した、こども食堂3ヵ所に配布させていただきます。ありがとうございます。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂



▲ 台風19号被災地「ながとよマルシェ」▲ 朝明中 信州子ども食堂で配布

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-994

コロナ禍と物価高に負けない！

ひとり親家庭と生活苦の子ども食等緊急支援

波田の太田さんからりんご660*₀とお米200*₀ご寄贈が



11月20日(月)と30日(木)波田町の太田達男さんから、りんご(ふじ)2000個660*₀とお米200*₀のご寄贈がありました。早速、信州子ども食堂ネットワークと必要としている家庭に無料で、差し上げています。
小粒ですが、とても美味しいです。

子どもと家族を支えよう！

一人親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂



美味しいリンゴが各信州子ども食堂ネットワークで配布されています。



ご希望の方は、☎0120-914-994
へご連絡ください

子どもと家族を支えよう！

コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

コロナ禍と物価高に負けない！
ひとり親家庭と生活苦の子ども食等緊急支援

2023年(令和5年)12月9日 土曜日



玄向寺に寄られた食料品や物資
NPO ホットライン(信州)撮影

子ども食堂支援協力に感謝
松本の玄向寺呼びかけ 食料品集まる

子どもと家族を支えよう！

長引くコロナ禍と物価高騰に負けないぞ！信州子ども食堂

伊那市の(株)パネックス 長野工場様からパン 3,000個のご寄贈！



(株)パネックス長野工場様からの詰め込

12月14日(水)、伊那市の(株)パネックス長野工場様からクロワッサン 3,000個(写真)のご寄贈を！受けました。早速！コロナ禍と物価高騰に苦勞している子どもと家庭に信州子ども食堂ネットワークを通じて届けさせていただきます♡。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂



米粉入りクロワッサン 3000個



松本本部事務所倉庫 受け取り

お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-99 に お願いします。

(株)小松種鶏場さんからたまご1,890個のご寄贈を！



12月29日(金) 松本市の(株)小松種鶏場様から規格外の玉子 1,890個 210㊦(写真)のご寄贈を！受けました。早速！明日12/30日(土)島内公民館の「年越し子ども食堂」を皮切りに、コロナ禍と物価高騰に苦勞している子どもと家庭に届けさせていただきます♡。ありがとうございました。



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-99 に お願いします。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

松本市の玄向寺様よりマスク・果物・ドーナツなどを戴きました。



2月18日(日) 松本市の玄向寺さんが お檀家様より頂戴しました、パイナップル、フルーツ、お菓子、ドーナツ、マスクなど約1,000点100㊦を、子どもたちのためにと、お届けしてくれました。

早速、物価高の影響で苦勞している家庭と信州子ども食堂ネットワークで活用させていただきます。いつもへいつも…ありがとうございました。

お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

フロマーゼアソシエジャポン(株)様から、クリームチーズご寄贈

3月7日(木)にフロマーゼアソシエジャポン(株)さんから、クリームチーズのご寄贈品 1個1kgで、1ケース12個入りで17ケース204個いただきました。

冷蔵保管した後、必要としている、各信州子ども食堂ネットワークに配付し、活用させていただきます。また、他にもミニカンパルやミニプリーも定期的に載っております。昨今のコロナ禍と超物価高で苦勞を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族のご家庭に、届けております。



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994 に お願いします。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

上伊那の圓浄寺様と松本市の玄向寺様からご寄贈を受けました。

12月20日(水)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古縁様より、おすわけとして玄米100キロ(写真)を当法人本部に届けてくださいました。早速、超物価高で苦勞を余儀なくされ、ひとり親家庭等の子どもに配らせていただいております。ありがとうございます。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994



続く12月21日(木)に松本市の玄向寺寂蓮さんからお檀家様より頂戴しました、子ぎや大根、人参など約100キロいただきました。また、おてらおやつクラブからコスメット(母さん達の化粧品)のセット20箱が玄向寺様に届き、おすわけとして、当法人にご寄贈していただきました。ありがとうございます。

上伊那の圓浄寺様と東京の山口様からご寄贈を受けました。

2024年1月13日(土)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古縁様より、おすわけとしてお米90㊦と砂糖24㊦(写真)を当法人本部に届けてくださいました。早速、超物価高で苦勞を余儀なくされ、ひとり親家庭等の子育て中の家庭と能登半島地震の被災地へ配らせていただいております。ありがとうございます。



お問い合わせは、ご相談は・・・NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994



2024年1月10日(木)、衣類中心に、12日(金)マスクお菓子など、12日(土)土鍋、フエイトテッシュ(各写真)などをいただきました。早速、能登半島地震の被災地への支援物資として、届けさせていただきます。ありがとうございます。

子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

キューピーみらいたまご財団様から食材をいただきました。コロナ禍と物価高騰に勝つために！信州子ども食堂に



2024年1月29日(月)、全国食支援活動協会を通じて、キューピーみらいたまご財団様から「マヨネーズ30本84箱2520本・ネギ塩ガリックだれ24本2400本が松本市本部倉庫に届きました。長引くコロナ禍と物価高騰で苦勞している子どもと家族のために活用します。ありがとうございました。県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂」にお問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994 に お願いします。や「必要としているご家庭」に順次配ります。

松本少年刑務所様と松本市危機管理部様からご寄贈を受けました。

3月4日(月)松本少年刑務所様より、「そのまま蒸チキンライス1箱30食の150食をいただきました。早速、4日から、11能登半島地震の被災地支援へ出発する、信州子ども食堂ネットワークの仲間、信州レスキューセンター」の仲間に物資を託し、被災者の皆さんに食べていただきます。



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994 に お願いします。

続く3月5日(火)に松本市危機管理部様より、防災備蓄品「液体ミルク400本(16ケース)、粉ミルク288缶(36箱)」を当法人にご寄贈していただくことになり松本市防災備蓄センターへ取りに行きました。早速!!信州子ども食堂ネットワーク各子ども食堂に配らせていただきました。ありがとうございます。

諏訪中央病院看護専門学校3年生の学習会

2023年6月9日(金) 信濃毎日新聞

子ども食堂の役割とは 塩尻 看護専門学校生が現状学ぶ



子ども食堂に寄付された米を、小さな袋に分ける生徒ら

諏訪中央病院看護専門学校（茅野市）の生徒6人が8日、塩尻市片丘でNPO法人ホットライン信州（松本市）が運営する「信州子ども食堂おじり片丘」を訪れ、子ども食堂の現状を学んだ。子ども食堂の役割などについて説明を受け、食品を小分けする作業も体験した。

援のために始まったが、居場所をつくる役割も果たしている」と説明。食事を共にする場を設けることで「自殺や犯罪、虐待が起らない社会づくりにもつながりたい」と強調した。

生徒らは、袋に穴が開いたためスパーから寄付されたコメを、配布するため小袋に移し替える作業もした。3年の岩井紗葉さん（20）は「茅野市豊平」は「住民を支える地域の活動を知り、将来、患者さんとの関わりを生かせばいい」と話していた。

5民タイムス

令和5年(2023年)6月17日 土曜日

こども食堂の支援学ぶ

看護専門学校 3年生6人 ホットライン信州で体験



企業から提供された米やパンの耳を小袋に詰める学生たち

県内でこども食堂の運営・支援をしているNPO法人ホットライン信州の塩尻市片丘にある拠点でこのほど、諏訪中央病院看護専門学校3年生6人が支援物資を作る作業をした。新型コロナウイルスと、物価高騰の中で

の支援状況に理解を深めた。学生らは地域保健の授業で「こども食堂」をテーマに学ぶグループで、フィールドワークのため拠点を訪れた。法人スタッフとともに県内の各企業から提供された米やパンの耳を小袋に詰め、こども食堂で配布する支援物資を作った。各地のこども食堂で提供されている冷凍おやきを焼く体験もした。

参加した成川夕奈さん（21）は「身近にありながら、法人の活動を知らなかった。自分たちが関わって発信することで、広がっていくといい」と話していた。法人の専務理事・青木正照さん（73）は「食を通じてつながりを学び、仕事や生活の中で生かしてほしい」と期待していた。

（細野はるか）

長野畜振(株)から牛乳120本をいただきました。

市民タイムス 2023年6月10日(土)

こども食堂に
牛乳を寄付

松本の長野畜振

NPO法人ホットラ

イン信州が主催する

「信州こども食堂in

まつもと」が8日、松

本市本庄1の松本駅前

記念公園などで開かれ

た。食品を中心とする

多彩な支援物資ととも



牛乳を受け取る子供

まつもと」が8日、松本市本庄1の松本駅前記念公園などで開かれた。食品を中心とする多彩な支援物資とともに、牛乳販売などを手掛ける長野畜振(松本市鎌田2)から寄付を受けた牛乳が提供された。



地元でのこども食堂の取り組みを知った小林文明社長が協力を申し出て、200リットルの瓶入り牛乳120本を届けた。訪れた人たちは、ホットドッグやいなりずしなどとともに早速味わっていた。芳川小学校4年生・窪田律峽君(9)は「牛乳は好き。おいしかった」と笑顔だった。小林社長は「栄養価の高い牛乳で子供たちの役に立ちたい。酪農家が大変な状況の中、消費拡大のきっかけにもなれば」と願い、可能な範囲で継続していくという。(鎌倉 希)

ジンコーポレーションさんからのご寄贈

松本市 信州こども食堂 in 松本どん八 信濃毎日新聞 7月15日

松本の会社子ども支援
パチンコ店経営などのジン
コーポレーション(松本市)
は、県内で子ども食堂を運営
するNPO法人ホットライン
信州(同)に現金11万円余を



寄付したII写真。経営するパ
チンコ店や飲食店、自動車販
売店に募金箱を置き、集まっ
た金額を贈った。
同社は2018年、松本市
の松本駅近くで経営する飲食
店で子ども食堂を開始。新型
コロナの影響で開けなくなっ
たが、同法人に現金や食事、
菓子の寄付を続けている。
同法人が開いた「信州こど
も食堂inまつもと」で小学
生から感謝状を受け取った齋
藤彰宏社長(59)は「生活に困

っているお子さんや親御さん
の力になればいい」。同法
人の青木正照専務理事(73)は
「物価高騰で子ども食堂を必
要としている人は多く、大変
ありがたい」と話した。





長野県農業経営者協会様から ご寄付をいただきました。

7月28日(金)長野県農業経営者協会さまと懇談をする中、コロナ禍と急激な物価高騰の影響で苦労している、子どもや家庭の現状をお話ししながら、貴協会から子どもたちのために活用してほしいと30万円のご寄付をいただきました。



信濃毎日新聞

寄付

◇松本市【県農業経営者協会がNPO法人ホットライン信州へ寄付】県農業経営者協会は28日、県内で子ども食堂を運営するNPO法人ホットライン信州(松本市)に現金30万円を寄付。松本市内で同協会の根橋英夫会長が、ホットライン信州の青木正昭専務理事に目録を手渡した。

2023年8月2日(水) 市民タイムス

子ども食堂に 30万円を寄付

県農業経営者協会

県農業経営者協会(根橋英夫会長)はこのほど、松本市のNPO法人・ホットライン信州に、子ども食堂の運営に役立ててほしいと30万円を寄付した。ホットライン信州の本部事務所(松本市寿北5)で贈呈式が開かれ、根橋会長や会員で米農家の百瀬茂敏さん(74)＝神林＝が、寄付金を青木正昭専務理事に手渡した。根橋会長は「子供たちが健康やかに育ち、将来農業に興味を持ってくれたらうれしい」と願った。青木会長は「米や野菜がどう育ち手元に届くのかを、子ども食堂を通じて子供たちに伝える」と述べた。

(田中祥子)



記念撮影に臨むホットライン信州と県農業経営者協会の関係者

市民タイムス

子ども食堂に物資寄贈 松本中央LC フードドライブで協力



集まった多くの支援物資の前で行われた贈呈式

松本市に拠点を置くNPO法人ホットライン信州などはこのほど、島内の県松本合同庁舎前で「信州子ども食堂inまつもと」を開いた。共催の松本中央ライオンズクラブ(LC)、青島千恵会長がフードドライブを同時に行って物資集めに協力し、物価高などで生活に困っている人に食料品や衣類などを配った。

フードドライブでは野菜や缶詰、乾麺など約1万2000点が集まった。松本中央LCが創立55周年記念として縁日を併催したこともあり多くの親子連れが訪れ、食料品を寄付したり、物資をもらったりしていた。

松本中央LCはフードドライブを始めて6年目になる。青島会長は「活動の浸透には手応えを感じている。少量の寄付でもありがたい」と話していた。

(長尾浩道)

物価高騰に「寄付金型自動販売機」60台で支援

アルピコグループと、ダイドードリンコ(株)は、長野県内にある子ども食堂の継続的な支援を目的に「信州子ども食堂ネットワーク支援自動販売機」にアルピコグループ関連施設へ設置している60台の自動販売機を9月1日から切り替えました。学生ボランティアリーダー井口ここ音さんから感謝状の贈呈しました。



市民タイムス

信濃毎日新聞 2023年9月2日(土)

(3) 令和5年(2023年)9月2日 土曜日

当日は、トライ式高等学院松本キャンパスの学生達ボランティアスタッフ4名が参加協力してくれました。



自販機売り上げ 「子ども食堂」へ
アルピコグループ
アルピコグループとダイドードリンコ(大阪市)は1日から、同グループ関連施設にある自動販売機60台の売り上げ取る上嶋室長(手前左)

のの一部を、県内で子ども食堂を運営するNPO法人ホットライン信州(松本市)に寄付する。同日、NPO法人が松本バスターミナル(同)の自販機前で感謝状を贈った。ダイドードリンコが自販機70台余りの売り上げの一部を寄付しており、同グループが呼びかけに応じた。自販機はアルピコ交通(同)上高地線の駅やスーパーマーケット前

など、松本市や塩尻市、長野市などに設置されている。アルピコ交通の上嶋圭介・経営企画室長(右)は「普段の何気ない行動を通して、子ども食堂を支援できればいい」。ダイドードリンコ中部営業部(同)の倉谷学課長(左)は「60台増えるのは大きい。県民に子ども食堂支援をPRする効果もすごいと思う」と話していた。



本自販機は、売上金の一部を松本市に拠点を置くNPO法人ホットライン信州へ寄付することで子ども食堂の継続支援に役立てられるものです。早速!!寄付をする学生ら...

自販機で子ども食堂支援

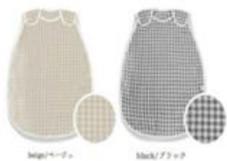
収益の一部寄付 アルピコとダイドード

アルピコグループは、子ども食堂に寄付1日、飲料メーカーのダイドードリンコと協カして、松本バスターミナルや、松本市内を走るアルピコ交通上高地線の駅にある自動販売機60台の収益の一部を、子ども食堂の活動支援に知らせるパネルが掲出された自動販売機

ホットライン信州の青木正照専務理事は「多くの方が利用する自動販売機を通じて支援いただけることがうれしい」と感謝し、アルピコ交通経営企画室の上嶋圭介室長は「微力ながら子供たちを支援する活動に貢献できれば」と話している。

(北原 悠)

「信州子ども食堂 ネットワーク」は、長野県内の子ども食堂約160カ所のサポート(食材提供・ひとり親家庭の支援・運営相談など)を行う団体です。今後の目標は、子ども・地域の居場所として県内370カ所の小学校区の開設を目指しています。子ども達へ食材・物資を安定的・継続的に届けるために「みんなのつながりの力」が必要です。ご協力をお願い致します。



ベビー、マタニティ用品を開発販売する塩尻市広丘野村のケラッタ(下村祐貴子社長)は27日、県内で子ども食堂を運営支援するNPO法人ホットライン信州に、幼児用スリーパー2000枚を寄贈した。物価高騰で負担が増している子育て世帯のために役立てられる。

スリーパー2000枚寄贈

ケラッタホットライン信州に



スリーパー2000枚を贈呈した式の出席者

を売った人のほどもデルチェンジをしたた

人の塩尻事務所に届けた。スリーパーはパジャマと布団を兼ねたような就寝時の衣服で、布団からはみ出しても幼児を寝冷えから守る。下村社長は「11万枚た。」(浅井文人)



ケーキ作りに挑戦する親子

ケーキ作り教室 親子30人楽しむ

松本乳製品会社協力

子どもの居場所づくりに取り組むボランティアグループ「笑和はうす」(松本市)は25日、定例の子ども食堂で親子らを対象にケーキ作り教室を松本市新村公民館で開いた。市内に工場がある乳製品製造の「フロマーシェアソ

シエジャポン」(東京)が社会貢献活動の一環で材料を提供し、作り方を教えた。この日、9組約30人の親子らが参加。同社あつみ野工場(松本市)副工場長の永野裕二さん(54)が講師を務め、参加者は同社のクリームチーズなどを使い、「ニューヨークチーズケーキ」作りに挑戦。焼き上がったケーキを持ち帰った。

「娘と一緒にケーキ作りができて良かった」。長女真優さん(9)は「材料を混ぜるのが楽しかった」と話した。同社が商品を使ったケーキ作り教室を開きたいと考え、NPO法人ホットライン信州(同)が仲介し、笑和はうすに打診。ホットライン信州は「他でもこうした取り組みを展開したい」としている。



NPO ホットライン信州(信州子ども食堂)で子育て中のスタッフらが、スリーパー2000枚を受取りました。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-994

親子でチーズケーキ作り

菓子製造 企業が協力 新村「笑和はうす」で

松本市新村公民館を拠点とする子ども食堂「笑和はうす」でこのほど、菓子製造企業の協力で、チーズケーキ作り教室が開かれた。9家族20人余りが参加し、親子で調理を楽しんだ。

フロマーシェアソシエジャポン(本社・東京都)の申し出で初めて企画され、同社あつみ野工場(梓川俊)が

健康君(9)は「ちよっと

「クリームチーズも高いからこんな素敵な体験ができて嬉しいです」「こんなにたくさん材料が用意できないです」と言った喜びの感想をたくさんいただきました。焼いている間にクリームチーズを使ったチーズボー



チーズボール作りを楽しむ親子

ルを作りし、みんなでおやつにいただきました。甘いおいとともにふくらチーズケーキが焼き上がりました🍰。フロマーシェアソシエジャポン(株)さんが提供して下さったチーズのお土になりました。

難しかったけれど楽しかったと喜んでいました。笑和はうすを運営する大久保葉月さん(38)は「(新型)コロナウイルス禍で、小さい子供たちは地域で集まる機会が減っているのだからありがたい」と感謝していた。同社は今後も、NPO法人ホットライン信

(柳 純一)

12月8日(金)に波田町の太田達男さんから、りんご(ふじ)1600個 330*とのご寄贈がありました。早速、信州子ども食堂ネットワークと必要としている家庭に無料で、差し上げています。小粒ですが、とても美味しいです。



NPO ホットライン信州撮影

玄向寺に寄せられた食料品や物資



子ども食堂支援 協力に感謝

松本の玄向寺呼びかけ 食料品集まる

松本市大村の玄向寺副住職 荻須真尚さん(48)が取り組む、子ども食堂に食料品を寄付する「笠地藏プロジェクト」に、米約500kgや大根、長芋、ほうれん草などの野菜が寄せられた。7日、同寺でNPO法人ホットライン信州への贈呈式があった。

荻須さんが11月30日まで協力を呼びかけたところ、地元を中心に県内外の28人から食料品や現金計8万5千円が集まった。同法人専務理事の青木正照さん(74)は「物価高などの影響で、子ども食堂には例年になくいろいろな親子連れが訪れ、食料品があつという間になくなる状況」と説明。給食がなくなる冬休みは「子ども食堂を頼りにする人が多い」とし、年末に向けた支援に感謝した。

同プロジェクトは新型コロナウイルス禍で生活が苦しくなった人を支援したいと2020年に始め、4年目。荻須さんは「たくさんの方の支援が集まり感謝している。厳しい状況が続くので、引き続き子ども食堂に心を寄せてほしい」と話している。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

松本市の玄向寺様からお米など約1トの物資とご寄附のご寄贈を受けました。

12月7(木)に松本市の玄向寺荻須さんがお檀家様より頂戴しました、米500kg・長芋60本・大根200・白菜・キャベツ・ほうれん草・長ネギ・玉ネギなど野菜多数、ドーナツ600個・蜂蜜35瓶・缶詰など多数と現金85000円のご寄附いただきました。ありがとうございました。

2023年12月8日(金) 市民タイムス

「笠地藏の心」食料品寄付

玄向寺 子ども食堂運営NPOに



集まった食料品の贈呈式



松本市大村の玄向寺が7日、子ども食堂を運営支援する市内のNPOホットライン信州に食料品を寄付した。新型コロナウイルス禍による失業や収入減で、生活が苦しい貧困家庭を支援する「笠地藏プロジェクト」での取り組み。県内外から集まった食料品や現金を11月下旬に集約をかけたところ、米が約500kg、大根200kg以上のほか、白菜、ネギなどが約30人から寄せられた。野菜、果物、現金が増えていると「家庭計が厳しく、子ども食堂に例年になくいろいろな親子連れが訪れ、食料品があつという間になくなる状況」と説明。給食がなくなる冬休みは「子ども食堂を頼りにする人が多い」とし、年末に向けた支援に感謝した。

子どもと家族を支えよう！

支援～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂
コロナ禍になった2020年から始めた「笠地藏プロジェクト」。今年で4年目になります。早速!!「信州子ども食堂ネットワーク」の各子ども食堂やひとり親家庭などに配布させていただきます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994

12月23日(土)大原学園様の教室をお借りし、松本蟻ヶ崎高校生と大原学園の学生らがNPO ホットライン信州が個人や企業(サンエイ・アプロ・マルハン様)から集まったお菓子のXmasプレゼントとお米の袋詰め作業200袋を作り、子ども達に配布しました😊。また、蟻ヶ崎高校へアドネーション(病気や事故などで、髪の毛が必要な人への髪の毛の寄付のこと)得たお金2万円を当法人に寄付をしていただきました😊。



市民タイムス 2023年12月24日(日)



「信州こども食堂in」で開かれた。企業などまつもと学び塾」が23から提供された菓子を

Xmas用お菓子贈る

松本こども食堂 大原学園で



菓子をクリスマスプレゼント用に袋詰めする生徒や学生たち

松本蟻ヶ崎高校へアドネーション同好会・AHD30や、大原学園の学生がクリスマス用に袋詰めをして、子供たちにプレゼントした。生徒たちは、スナック菓子を透明なビニール袋に入れ、赤いひもを結んで贈り物にした。同好会は、活動を応援する団体から受けた支援金のうち余剰分をホットライン信州に寄付もした。部長の黒田香椰美さん(17)は「子供たちが喜んでくれたらうれしい」と話していた。

NPO法人ホットライン信州が主催する校法人大原学園松本校「信州こども食堂in」で開かれた。企業などまつもと学び塾」が23から提供された菓子を

市民タイムス 2023年12月31日



温かい食事で笑顔に

松本で年越しこども食堂

松本市寿北5のNPO 家庭に、年末年始を笑顔で過ごしてもらおうと、温かい食事や食料品、日用品を無料で提供した。

コロナウイルス禍や物価高騰の影響を受ける島内地区の東方そばの会同志会が打った持



提供された温かいうどんを食べる来場者

物をいただけただけで助かる」と感謝していた。

同法人の青木正照専務理事は「個人や企業から善意で提供品を寄せて

ち帰りの年越しそば120食も配布した。松本市在住で小学生の子供2人と一緒に訪れた母親は「いろいろな

(石川鮎美)



中学生や高校生による被災地支援の輪が広がっています。松本市の高校では「ボランティア部」が能登半島地震の被災地に送るための支援物資を準備しました。コメや…卵…化粧品など、物資を袋に詰めていきます。松本市のエクセラン高校の福祉科と園芸農業コースの2年生と3年生です。

■エクセラン高校・福祉科2年

「被災した人は肉体的にも精神的にも大変だと思うので、少しでも生活の役に立てたらという思いと、物資を受け取って元気をもらってくれればと思う」コメの一部は園芸農業コースの生徒が育てたものです。

■エクセラン高校・園芸農業コース3年

「(自分たちのコメを届けられて)とてもうれしいと思っています。元気を届けられたらいいと思って活動しています」

そして化粧品などの物資は、子ども食堂の運営・支援をするNPO法人「ホットライン信州」に企業などから寄付があったものです。これまでも被災地に簡易トイレや水野菜などを届けてきました。

■NPO法人ホットライン信州・青木正照さん

「ニーズも徐々に変わって来ていて、やっとお風呂にはいれるようになったり、体を拭けるようになったということで、化粧品の詰め合わせも200セットくらい作った」

物資は能登半島地震の被災地のほかあす松本市で開かれる子ども食堂に届けるということです。

■NPO法人ホットライン信州・青木正照さん

「こういう若い人たちが協力してくれて盛り上げてくれることで、被災した人たちの気持ちに寄り添って自分たちも頑張るんだという気持ちが湧き上がってもらえればと思っている」





子ども食堂・被災地へ
エクセラシオン高生が
栽培した米を寄付
松本市のエクセラシオン高校園
芸農業コース3年生18人が26

▲NPO ホットライン信州
2024.1.27 撮影▼



日、本年度に同校で栽培した米を、県内で子ども食堂を運営するNPO法人ホットライン信州(松本市)に寄付した。この日は、各家庭に配りやすいよう2キロずつ袋に小分けした1写真。同法人は、子ども食堂で配布するほか、能登半島地震の被災者にも届けたいとしている。
米は、田植えから稲刈りまで生徒らが全て手作業で栽培。予想以上の収穫があり、子ども食堂に役立ててもらおうと考えた。城戸柊斗さん(17)は「被災地では大変な状況が続くので、早くおいしいご飯を食べられる状況になってほしいと願いを込めた」と話した。
同法人は27日午前11時半から、松本市本庄の活動拠点「学び塾」で開く子ども食堂でも配布を予定している。

子供や被災した人を思いながら
取り組む生徒たち
市民タイムス 2024.1.27



まつもと



被災者・困窮者に心寄せる

エクセラシオン高校で26日、福祉科と普通科園芸農業コース(17)は「子供が笑顔になつてくれたらうれしい。被災地の方にも元気を届けたい」と話した。
被災地が必要がある化粧品も袋に詰められた。同法人の青木正照専務理事(74)は「生徒の気持ちは困っている人の心とさつとつながる。被災地支援は長期になるので思いを持って続け、後輩にも伝えてくれたら」と願っていた。
信州子ども食堂inまつもと学び塾は27日午前11時半から、本庄1の峯村ビル(信州子ども食堂と近くの大原学園)で行う。(田中千絵)

エクセラシオン高 支援物資を準備

2/26 山辺中学校の生徒会3名と先生が訪れ、山辺中学校で実施したアルミ缶回収で得たお金 6435 円を寄付してくださいました。さらに3人はボランティア参加してくださいました。



地元子ども食堂に寄付

山辺中学生徒会 缶回収で

松本市の山辺中学校 域貢献を目的に全校で生徒会は26日、地元のアルミ缶の回収活動に山辺地区で運営されている「多世代寄り添い子ども食堂」に、6435円を寄付した。地 前生徒会長の花岡未歩さん、ともに前副会長の倉田直拓さん、横山千穂さんが開催場所を訪れて、子ども食堂代表の田口恵子さんに寄付金を手渡した。花岡さんは「食材の購入に使ってください」と話し、田口さんは「来月、ちらしずしを作って提供する予定。材料費に使わせていただく」と礼を述べた。生徒たちは子ども食堂の取り組みを全校に伝えるため、生活物資の配布や学習支援などの活動を手伝って体験した。生徒会は3月に、空き缶回収の収益金を市役所を通じて、能登半島地震の被災地に義援金として贈る。

(石川鮎美)



田口さん(左)に寄付金を渡す生徒たち

3月3日(日)、松本市の「色と香りの子ども食堂」は、ひな祭りのテーマカラー「ももいろ」にちなんだ「もも色子ども食堂」を開きました。ランチメニューは、飾り巻き寿司とハンバーグ、もも色デザート付き。



春色の食卓 囲む笑顔

エコロール 子ども食堂などイベント

松本市井川城2で、その人に合う色や香りを学ぶ講座を開いている「色と香りの学校・エコロールデココ」(吉岡直美さん主宰)で3日、子ども食堂が開かれた。親子連れが飾り巻きずしやハンバーグの昼食を食べ、キーホルダー作りなどの体験を楽しんだ。

春を意識してピンクをテーマカラーに設定し、ピンクの花模様の巻きずしやレモネードなどを出した。鎌田小学校2年の渡辺礼音さん(8)は「お花のおすしを楽しみに来た。おいしい」と笑顔だった。

エコロールデココがNPOホットライン信州と共催した。吉岡さんは「定期的に開いていきたい。子供たちが色彩を学べる機会もつくれたら」と話した。

エコロールデココは、その人に似合う色を生かした写真を撮影できるフォトスタジオ



花模様の巻きずしなどの食事を楽しむ子供たち

を併設している。4日まで「色と香りのテーマパーク」を開き、ウェディングドレスの試着やフレッグランス診断などを予約制で行う。イベント参加費は全額、能登半島地震の被災地支援に充てる。

(真田尚子)

